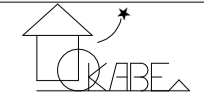
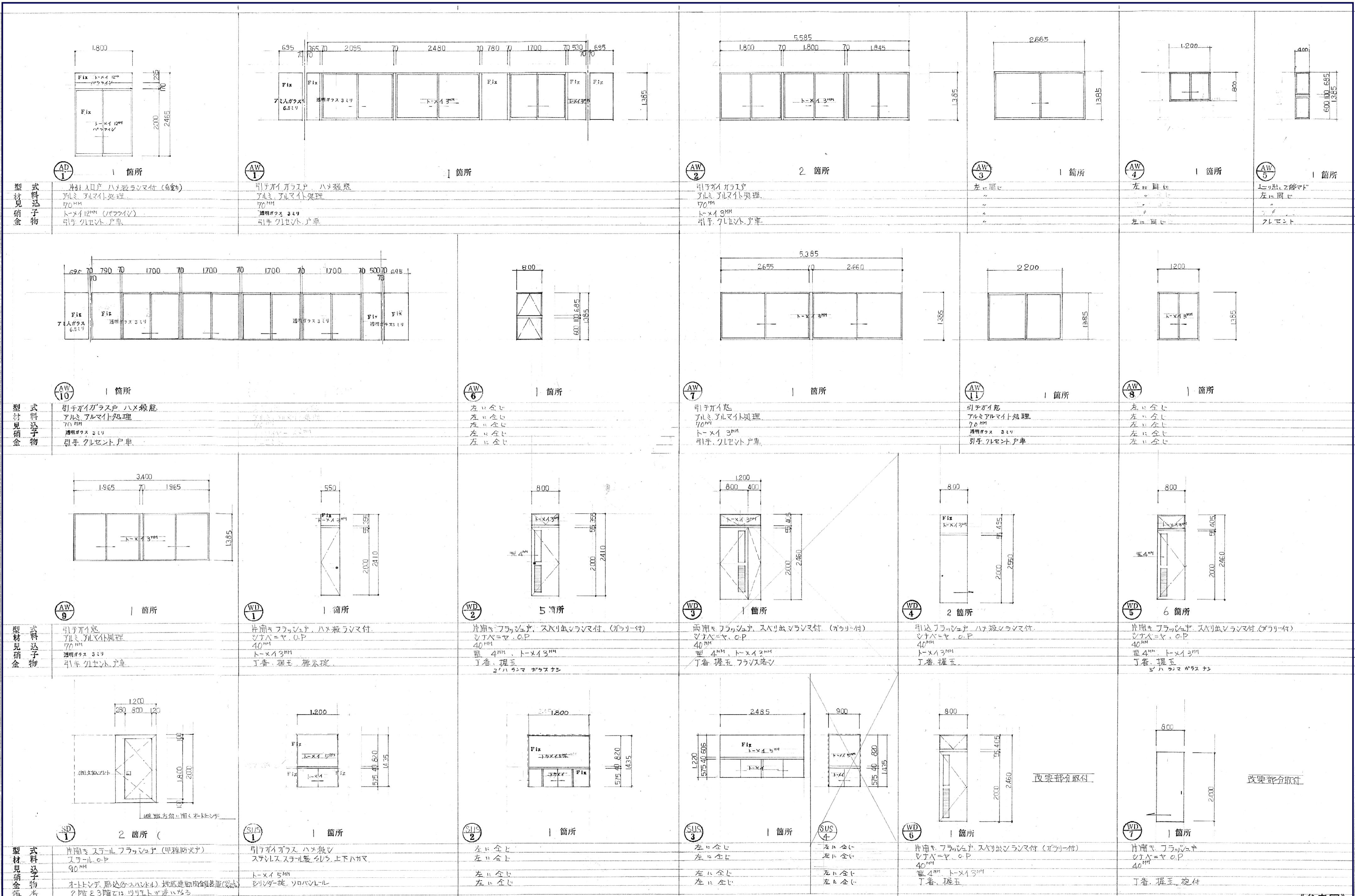
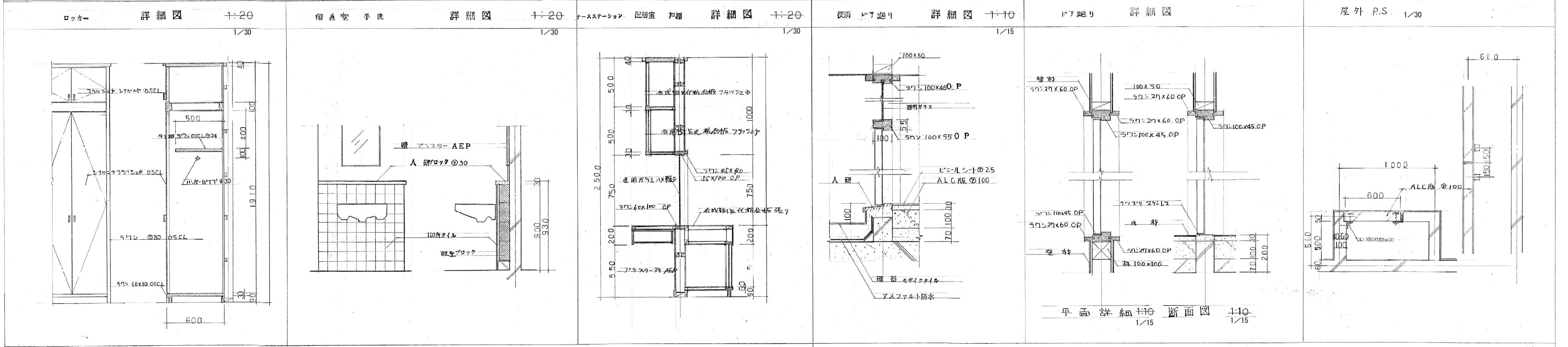
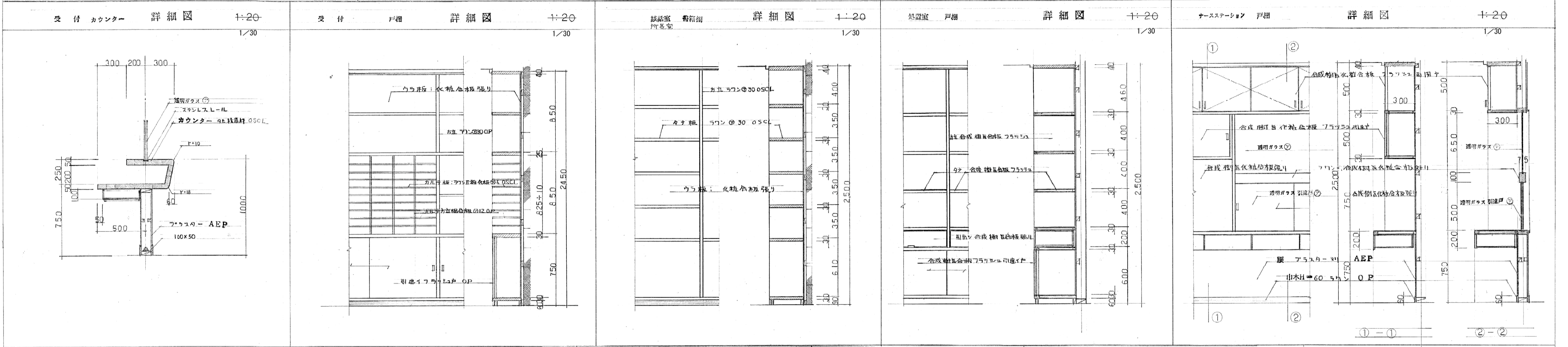
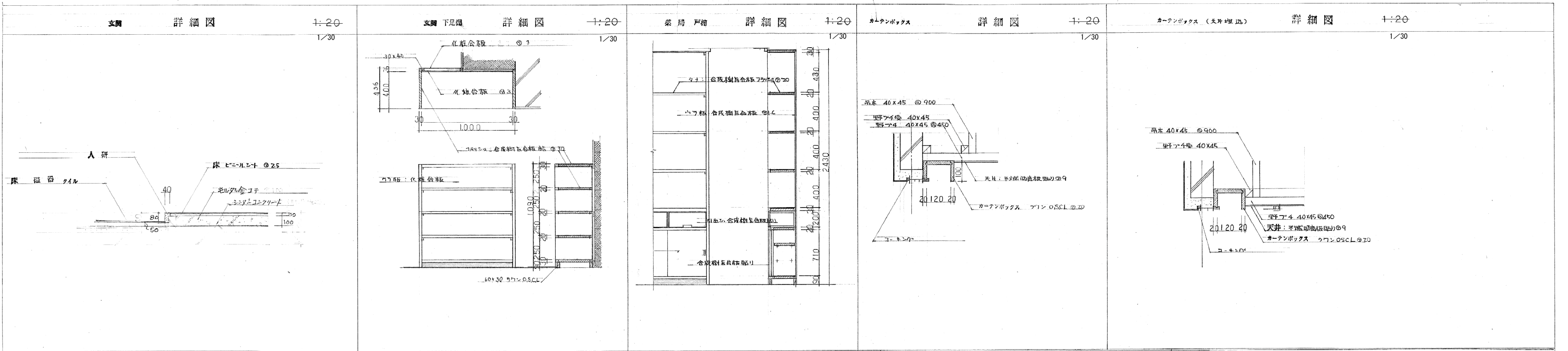


《参考図》

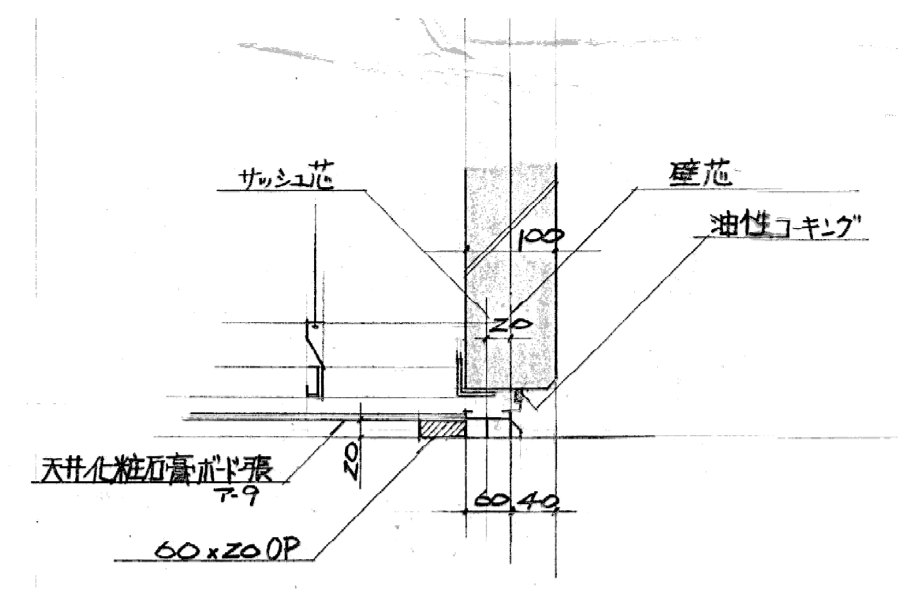
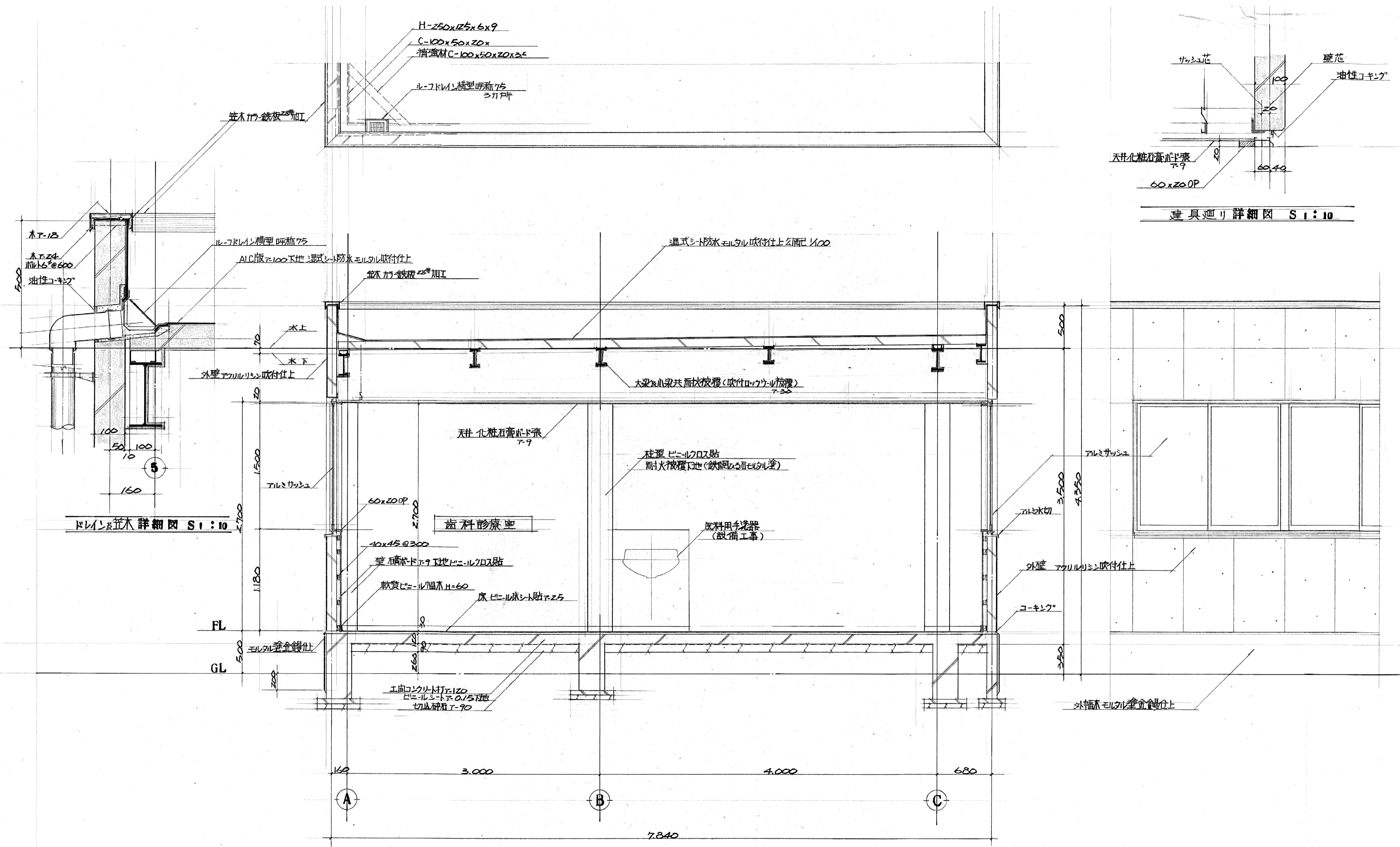
 〒350-0816 埼玉県川越市上戸282-8 (有)岡部建築設計事務所 TEL 049-231-0122	1級建築士 大臣登録268522 岡部健司	縮尺 1/150	工事名称 旧川越市立診療所解体工事	図面番号 No. A-45
		設計年月日 令和 8年 2月	図面名称 増築時 天井伏図、建具キープラン	



《参考図》



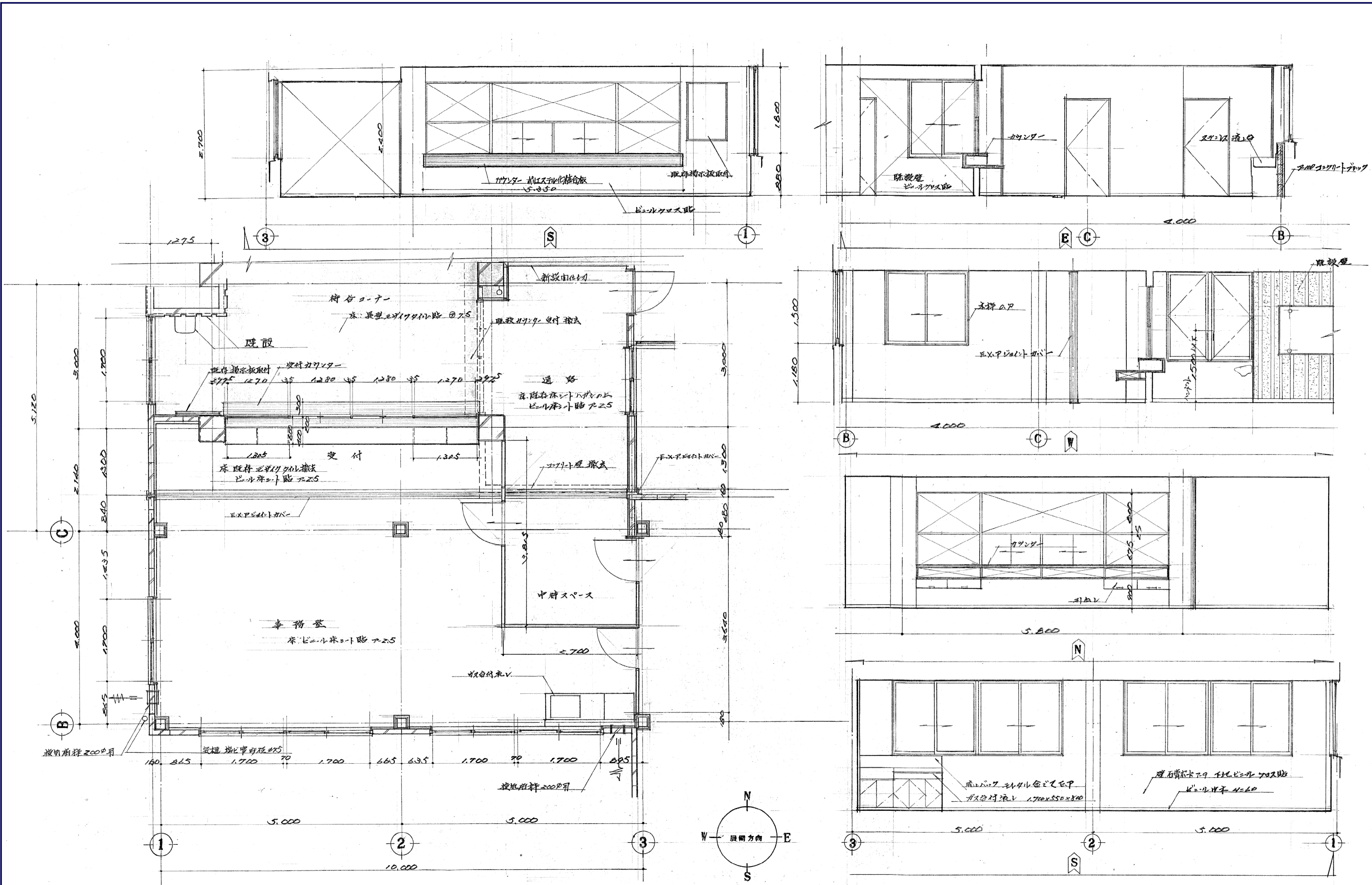
【参考図】



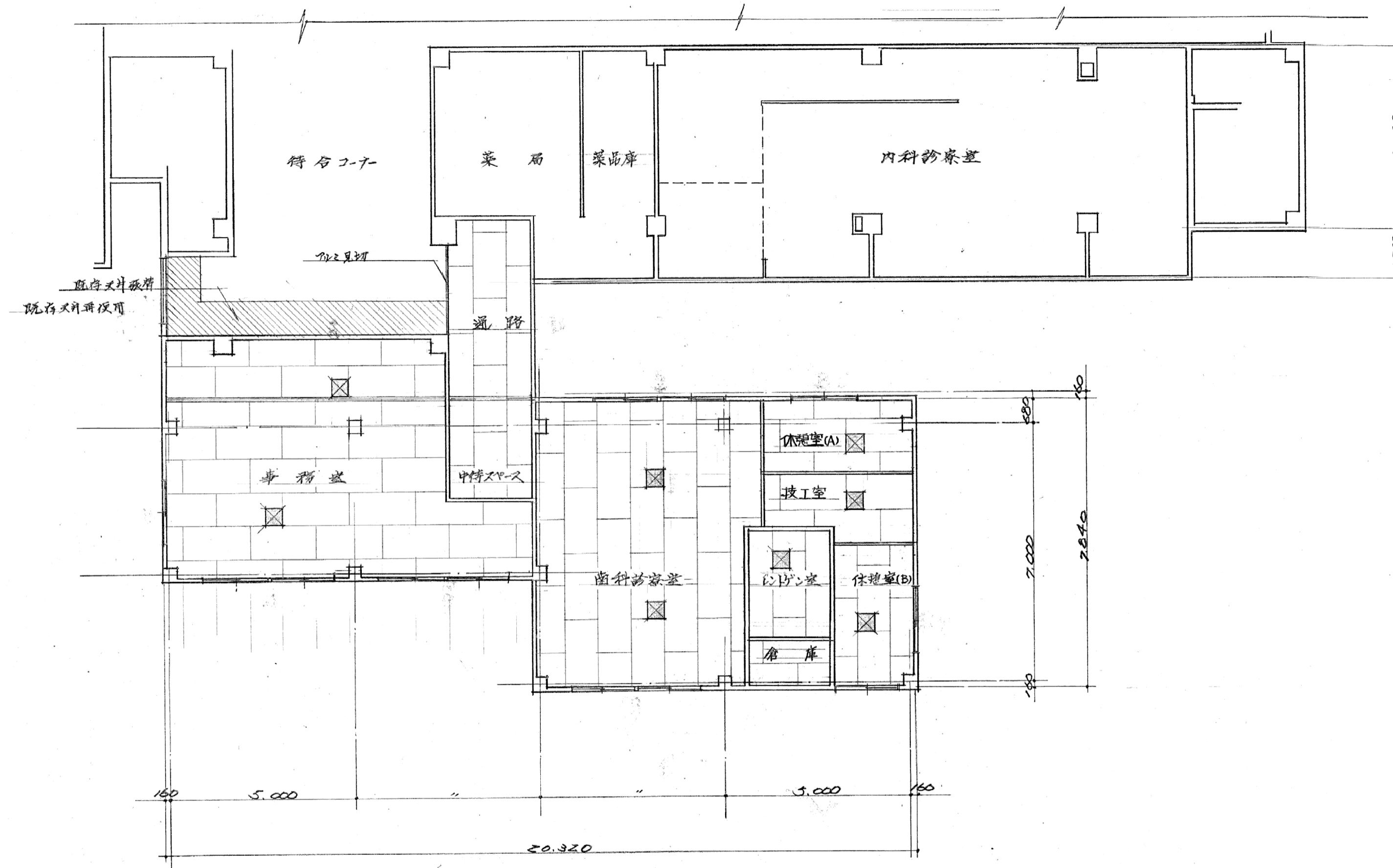
ドレイン取付木詳細図 S 1:10

建具廻り詳細図 S 1:10

《参考図》



《参考図》



天井伏図 1:100

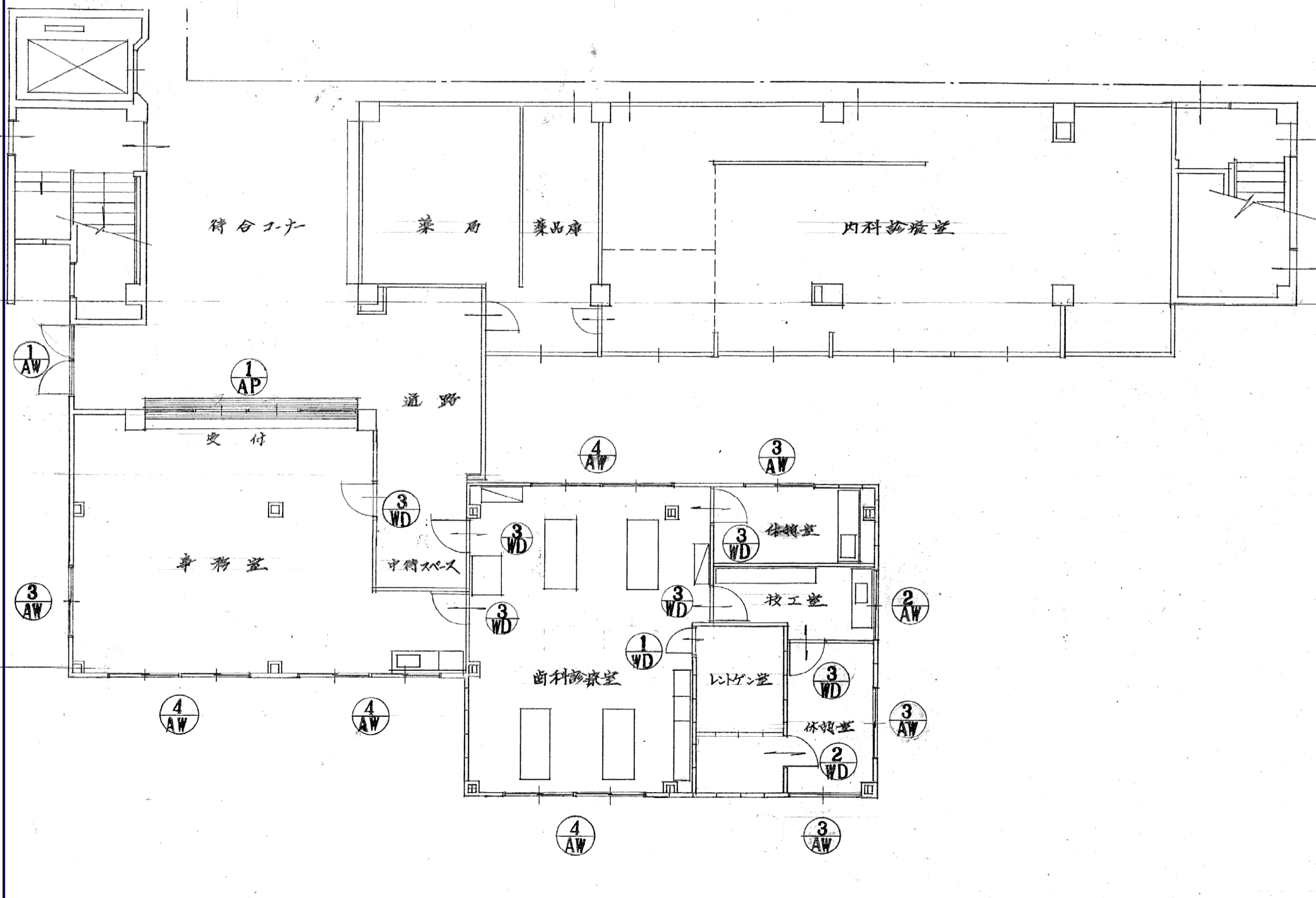
天井往上表

室名	天井往上	備考
内科診察室	不燃断熱板090P	既設
薬品庫	同上	"
薬局	同上	"
待合コーナー	同上	一部天井破損
通路	化粧石膏ボード張	910x1820x9
受付事務室	同上	
歯科診察室	同上	
技工室	同上	
休憩室A	同上	
休憩室B	同上	
レントゲン室	同上	
倉庫	同上	

☒ は天井製(450x450)天井点検口を天井計器が取り付け

《参考図》

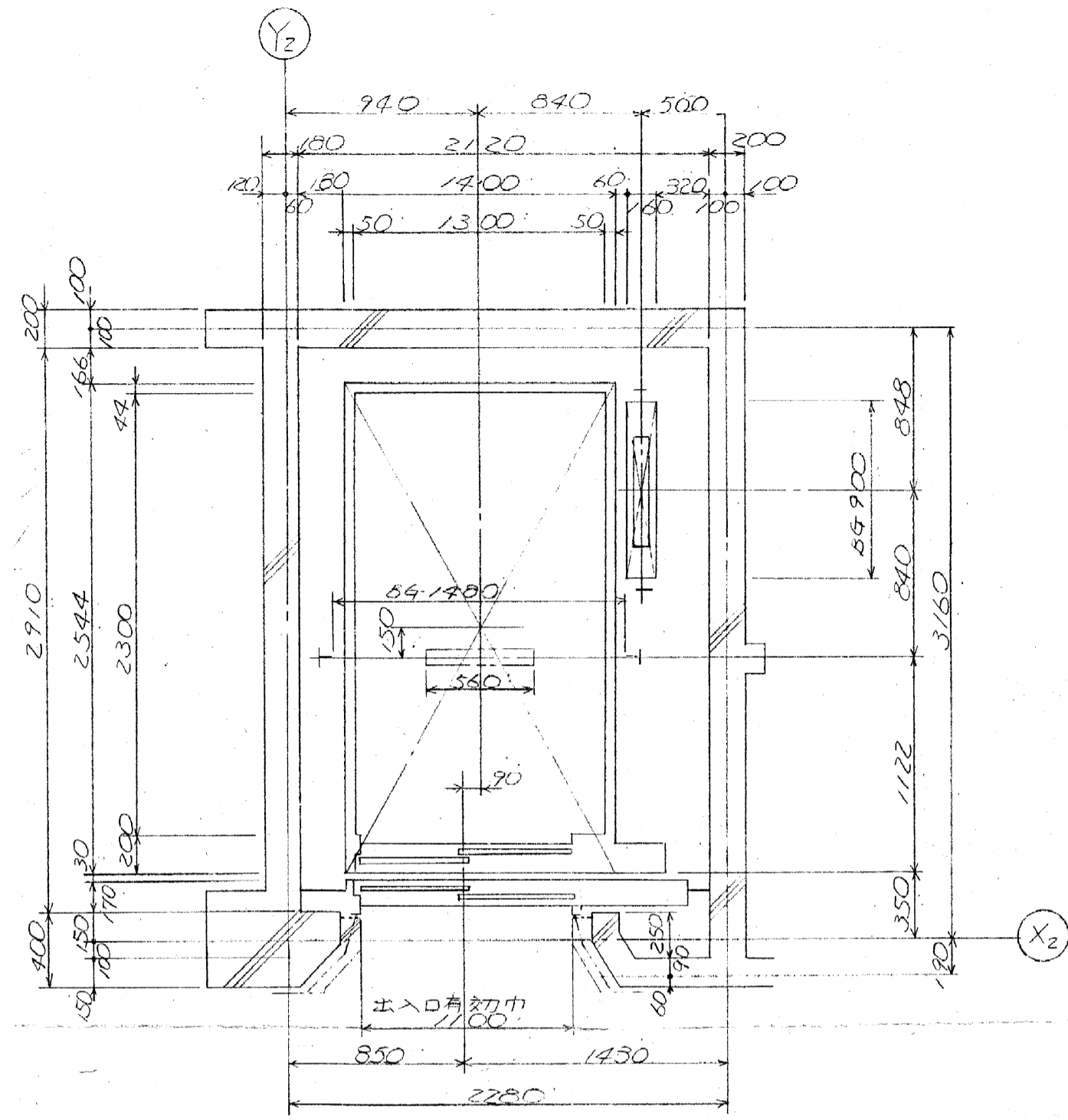
符 号 数 量	① AP	① AW	② AW	③ AW	④ AW
	1カ所	1カ所	1カ所	4カ所	4カ所
姿 回					
型 式	受付窓	二重片開窓	引違い窓	同 左	二重引違い窓
材 料	アルミ	アルミ	アルミ	同 左	同 左
見 込	70	60	同 左	同 左	同 左
ガ ラ ス	透明ガラス5% (脚込窓)	同 左	同 左	同 左	同 左
仕 上	アルマイト処理	同 左	同 左	同 左	同 左
金 物	シリコナー錠 ソロバンロー	ビストック・ハンドル水切付60ミリ止付ロー	プレゼント・木質w=60mmサドル	同 左	同 左
備 考	附属金物一式 (詳合)	同 左	同 左	同 左	同 左



KEY-PLAN 1:100

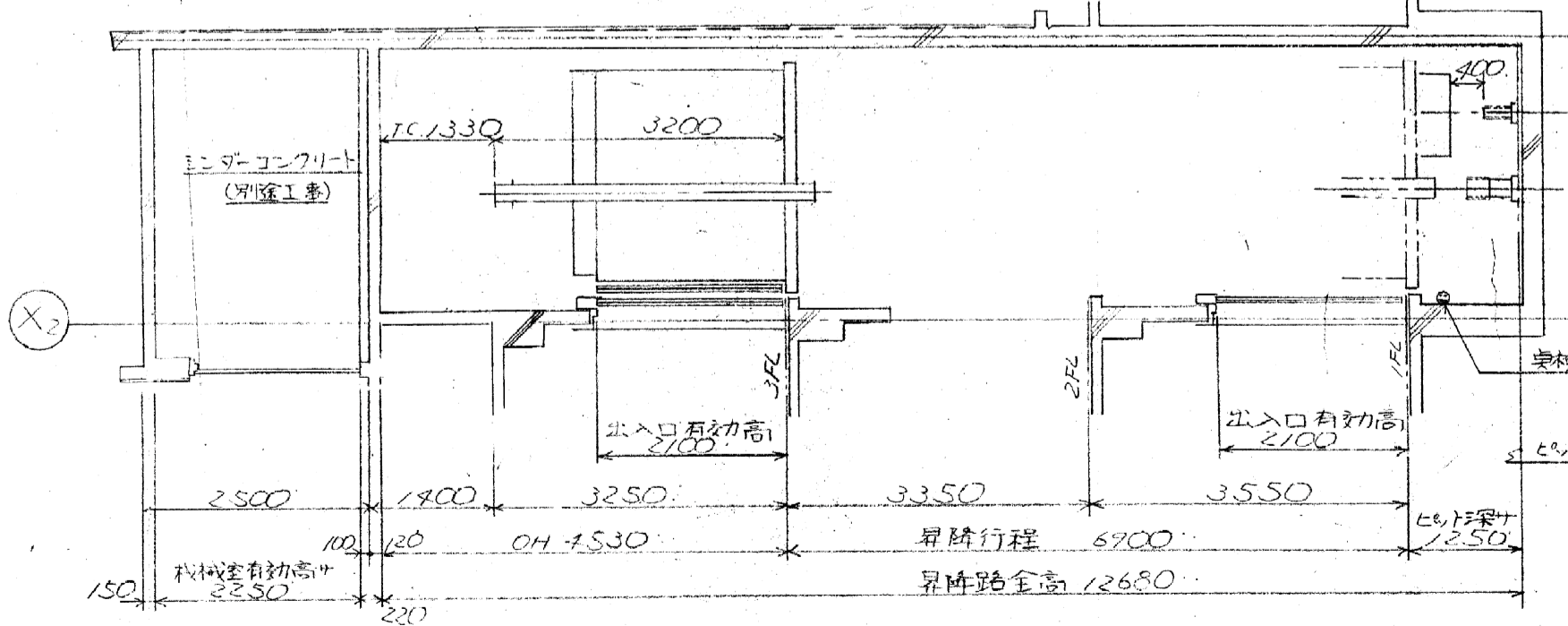
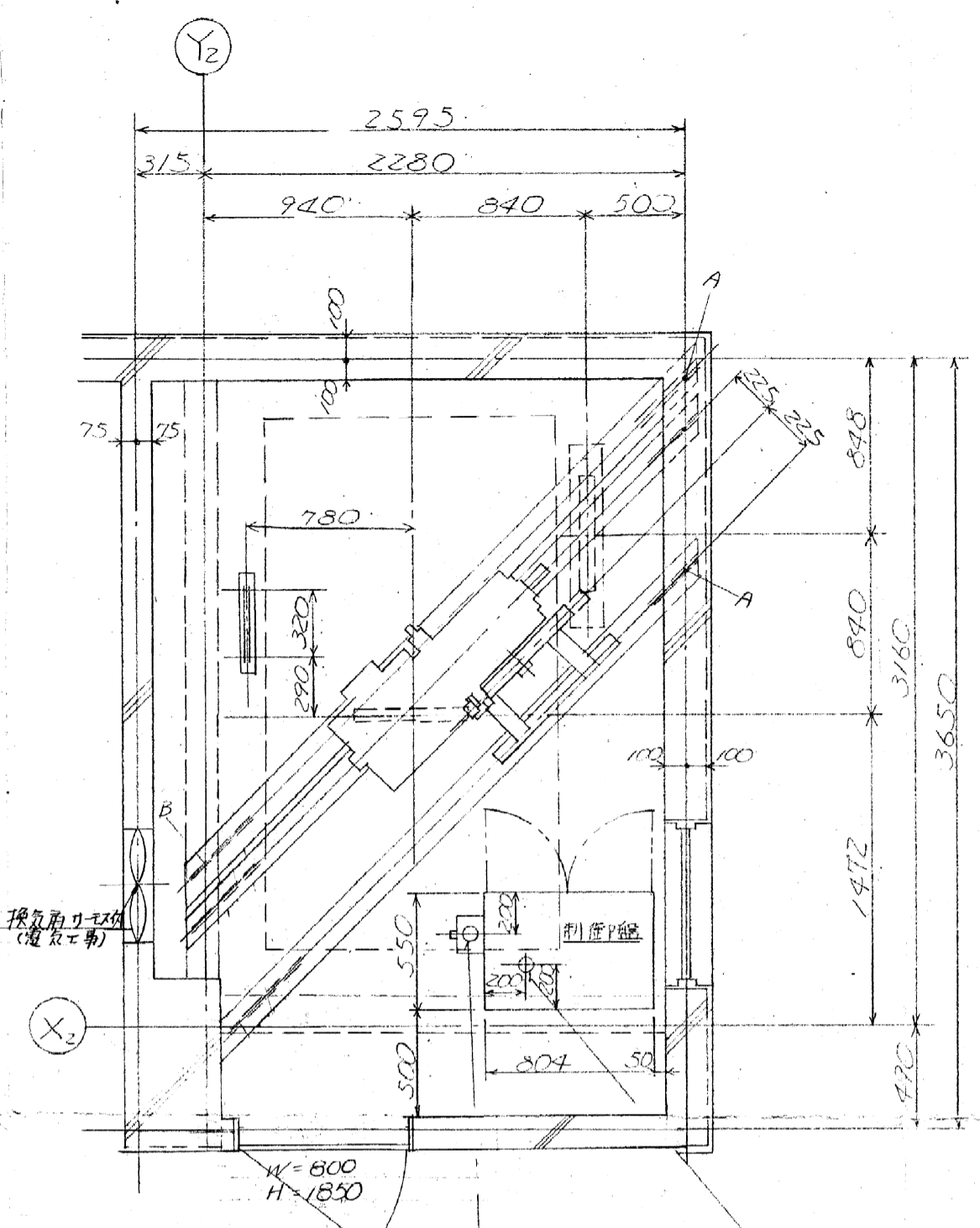
符 号 数 量	① WD	② WD	③ WD
	1カ所	1カ所	6カ所
姿 回			
型 式	レイトゲル窓用ドア	片開キドア	同 左
材 料	木 製	同 左	同 左
見 込	40	同 左	同 左
ガ ラ ス	合紙アクリル板 T-12	同 左	同 左
仕 上		ポリエステル化粧合板	同 左
金 物		合紙・ドア・ネットワーク・他所属金物一式	同 左
備 考			
符 号 数 量	(This section is crossed out with a large X)		
姿 回	(This section is crossed out with a large X)		
型 式	(This section is crossed out with a large X)		
材 料	(This section is crossed out with a large X)		
見 込	(This section is crossed out with a large X)		
ガ ラ ス	(This section is crossed out with a large X)		
仕 上	(This section is crossed out with a large X)		
金 物	(This section is crossed out with a large X)		
備 考	(This section is crossed out with a large X)		

《参考図》



荷重表	
位置	荷重
A-A	6000 kg
B-B	3000 kg

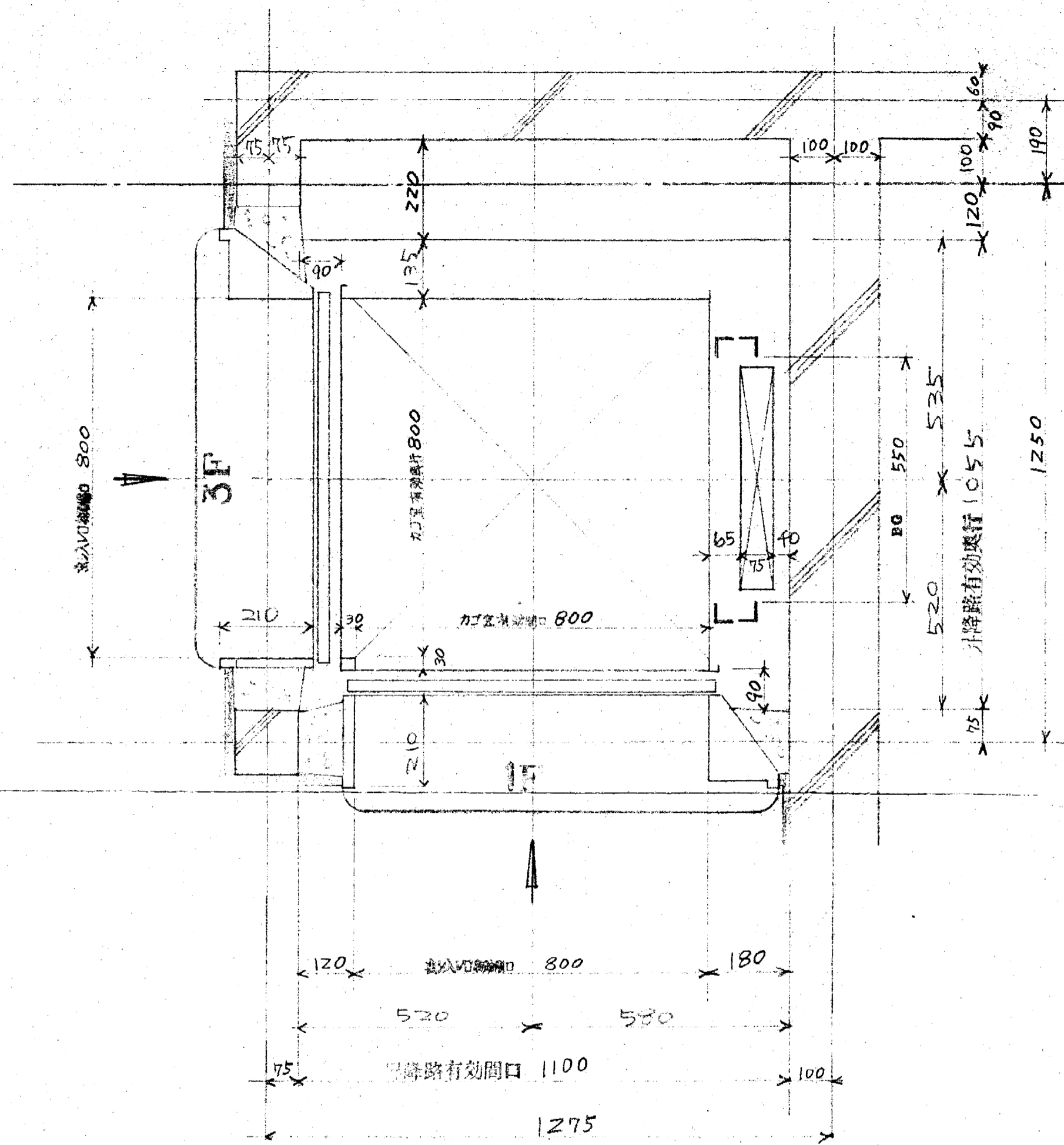
動荷重ハ2倍ニシテ計算ス



受電箱 電線引込口
 動力用 AC-200⁵⁰ 照明用 AC-100⁵⁰
 和種ケーブル ハイブリッド床面1150
 ハイブリッド床面1150 電線引出長サ 1000
 電線引出長サ 1000 (別途工事)

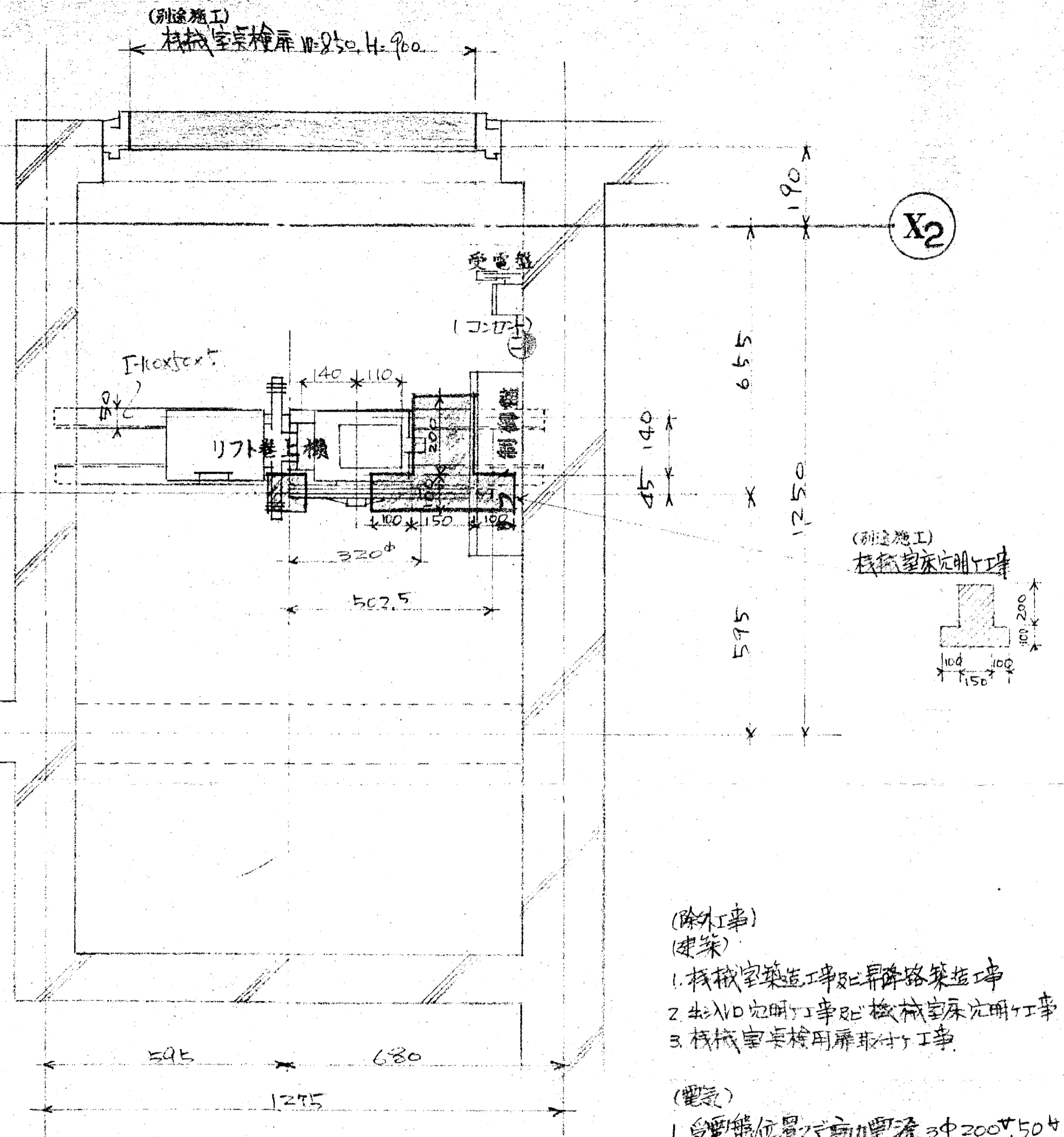
エレベーター仕様要項	
用途	混合用
制御方式	AC2 (駆動=前進化車組)
操作方式	20C.HE104777.04777
容量	750 kg 最大定員 11名
カゴ内法	開口形式 出入口有効幅×有効高さ
戸閉形式	電動式=双扉=双扉=双扉=双扉
速度	9.5 m/min
電源	三相交流 200 V 50 Hz
巻上機	E11E-200型 (特種定格)
巻上電動機	5.5 kw 3P
電動発電機	A.C.M. 型 G.C.G. KW EX KW (連続定格)
停止箇所	1~3 階 計3箇所
昇降行程	6 m 200
昇降全高	12 m 680
ツナ車 (径)	680 mm
ソラセ車 (径)	480 mm
ロープ (径)	12 mm × 7 本 2:1 ローピング
レール	カゴ側 kg/m・オモリ側 kg/m
衝突受	バネ式

- 確認事項・除外工事事項・注意事項**
- 確認事項** (図面中ノ下記事項ヲ御確認下サイ)
- 昇降路有効寸法 (開口 mm × 奥行 mm)
 - 昇降路有効寸法 (開口 mm × 奥行 mm) 兼中乗ガノイコト
 - ビット下部寸法 (法令ニヨル最小寸法 mm)
 - ビット下部使用の有・無
 - トップクリアランス寸法 (法令ニヨル最小寸法 mm)
 - 各層出入口上部ノ梁ノ有・無ト寸法 (法令ニヨル最小寸法 mm)
 - 機械室天井梁ノ有・無及ビ機械室有効高さ寸法 (法令ニヨル最小寸法 mm)
 - 機械室ノ機械台受梁又ハ立上り梁ノ位置及ビカガリ代 (mm)
 - 機械室出入口寸法 (巾 mm × 高さ mm) (法令ニヨル最小寸法幅700mm × 高さ1800mm)
- 除外工事事項**
- 建築工事関係**
- 昇降路・機械室ノ補遺工及ビ各層出入口ノ敷居持テ出し工事
 - 機械室床及ビ各層出入口ノ床位置表示器・押鈴ヲ含むノ孔開工事
 - ビット防水工事
 - ビット下部使用ノ場合ノ建築躯体改修工事
 - 機械室床配管後ノシンダーコンクリート (厚サ100mm) 打工事
 - 機械室出入口設置及ビ各層出入口ノ基準工事
 - 機械室天井ノック又ハロリー・ビーム (1m) 設置工事
 - 機械室ノ換気設備工事 (法令ニヨリ換気上有効ノ開口部又ハ換気設備ヲ必要トス)
 - 現場確認取付後ノ出入口扉ノ設置及ビ床仕上げ工事
 - ビット内保護工及ビ機械室内ノ間仕切又ハ保護欄工事
- 電気工事関係**
- 動力用電源 (接地線ヲ含む) ノ機械室受電盤迄ノ引込工事
 - 照明用100V電源ノ機械室受電盤迄ノ引込工事
 - 機械室ノ照明設備及ビ各層用コンセント設備
 - 昇降路ヨリ外部インテーク用配管配線工事
- 注意事項**
- 電圧電圧ノ変動ハ+5%~-10%以内ノコト
 - 本エレベーター所定ノ性能維持タメニハ下記条件ヲ必要トス
 (i) 月平均湿度90%以下、日平均湿度65%以下
 (ii) 金属ノ腐食又ハ腐蝕・接点ノ接触障害・ケーブルノ腐食及ビ化学的有害ガスノ発生
 - 本エレベーター機械室内機器ノ総重量ハ () kg/トナリマスノテ最高温度40℃以下ニ保ツテ特別送電設備ヲ設置下サイ
 - 昇降路壁ニハ電気・水道配管器具ヲ埋マズマシイ



昇降路平面図

X₂



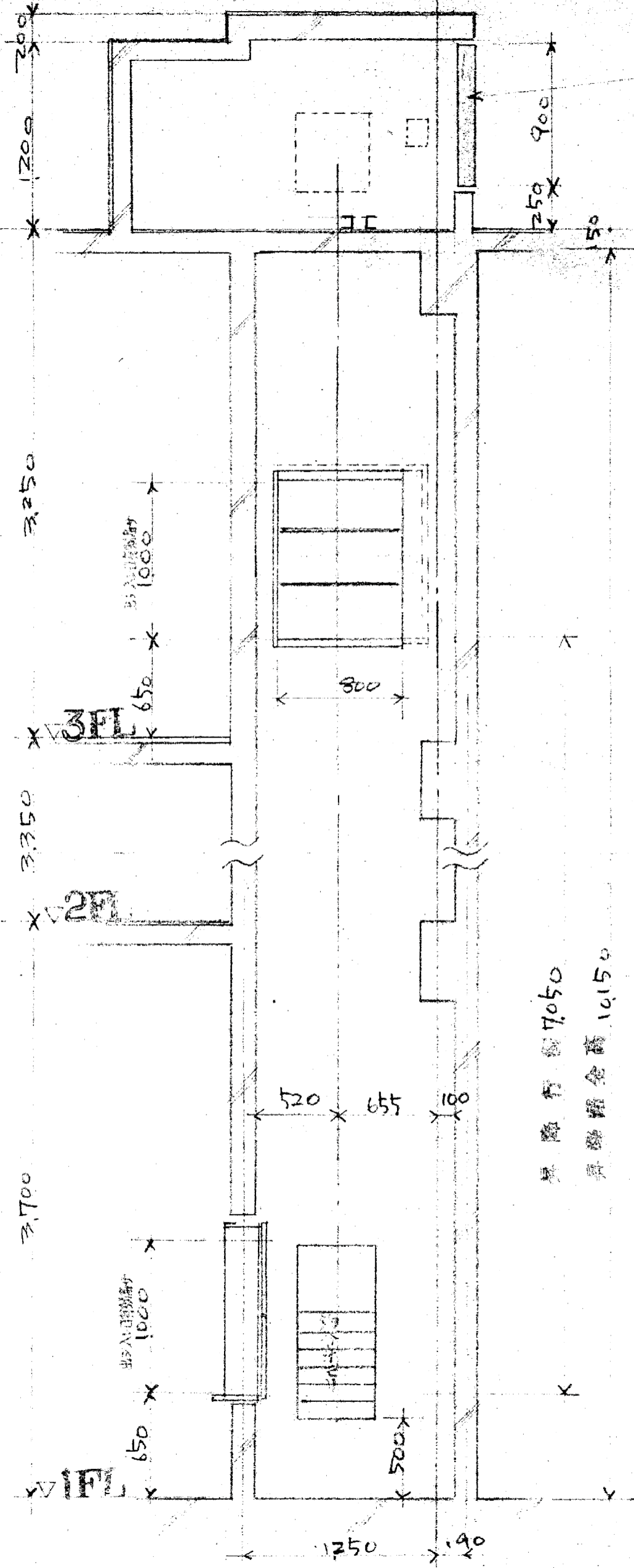
機械室平面図

(別途施工)
機械室床検用扉

- (除外工事)
(建築)
1. 機械室築造工事及び昇降路築造工事
 2. 出入口宛明り工事及び機械室床検用工事
 3. 機械室床検用扉取付工事
- (電気)
1. 受電盤位置で動力電線 3φ200V・50Hz 1.5kW 3込工事
 2. 受電盤位置で1φ100V種接地工事7種工事
アス線挿入工事
 3. 機械室床検用扉取付工事 1φ100V・0.5kW 取付工事

《参考図》

KB4



(別途施工)
扉付取付 W=850 H=900

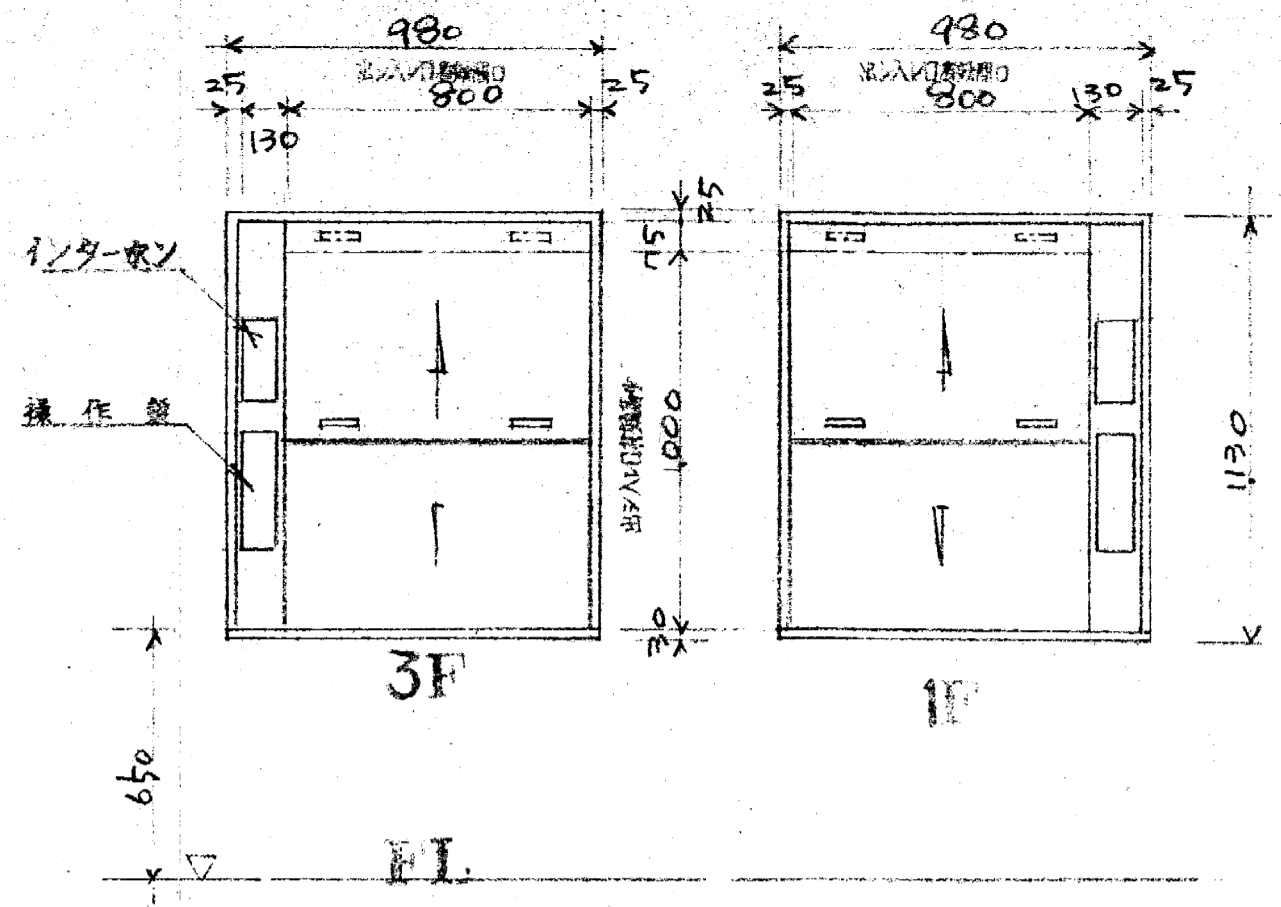
昇降機全高 10.150

ダムウエーター仕様要項

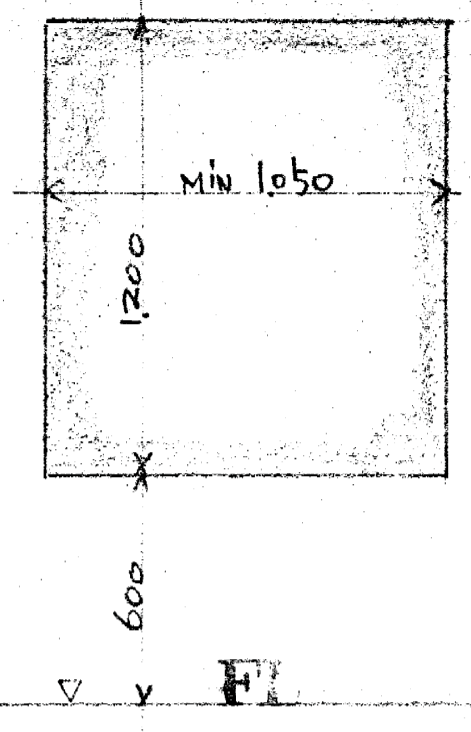
方式	交流一段速度歯車式
容量	150 匹
速度	25 米毎分
乗客	200 名(150 名)
モーター	1.5kw 6 巻
行程	7050 米
全高	10.150 米
停止箇所	1.3 階 2 箇所
巻上機	RT-150LDM-200 型
ツナ車	直径 320 径
ソラセ車	直径 230 径
ツナ	8 根 2 束
レール	カ L5 扣 L5 扣
カゴ	内法 300 径 X 300 径 高さ 1000
オモリ	40% バランス
戸閉	カ J 安全棒 / バ
制御方式	相互管制可
発電用	電動機

意匠仕様

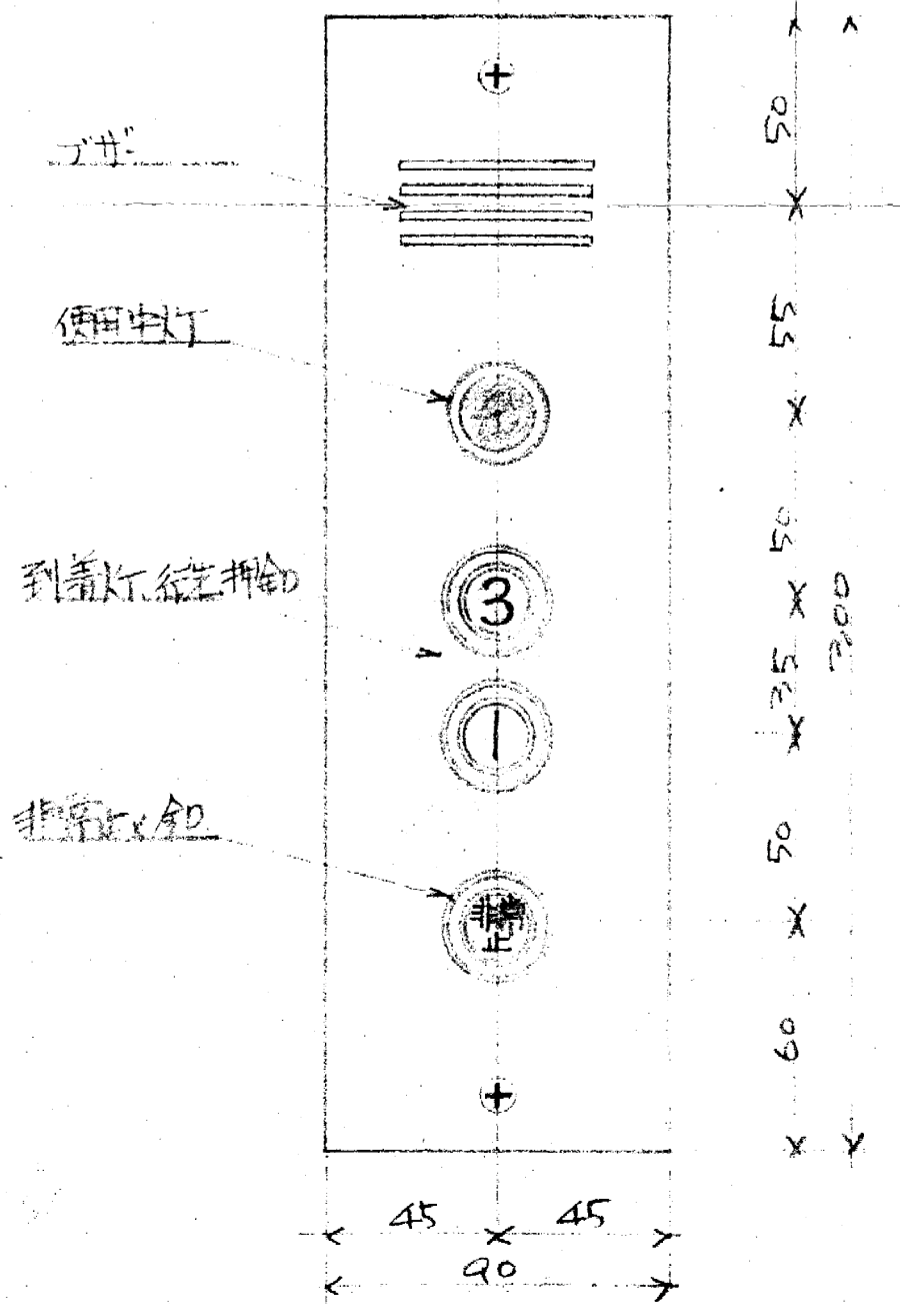
三才棒	1.6t 鋼板ラッカー塗装仕上
扉板	ステンレスヘアライン仕上 1.5t
柵板	"
扉	1.6t 鋼板ラッカー塗装仕上
安全棒	25φ パイプ 塗装仕上
操作盤カ-	1.6t 鋼板仕上



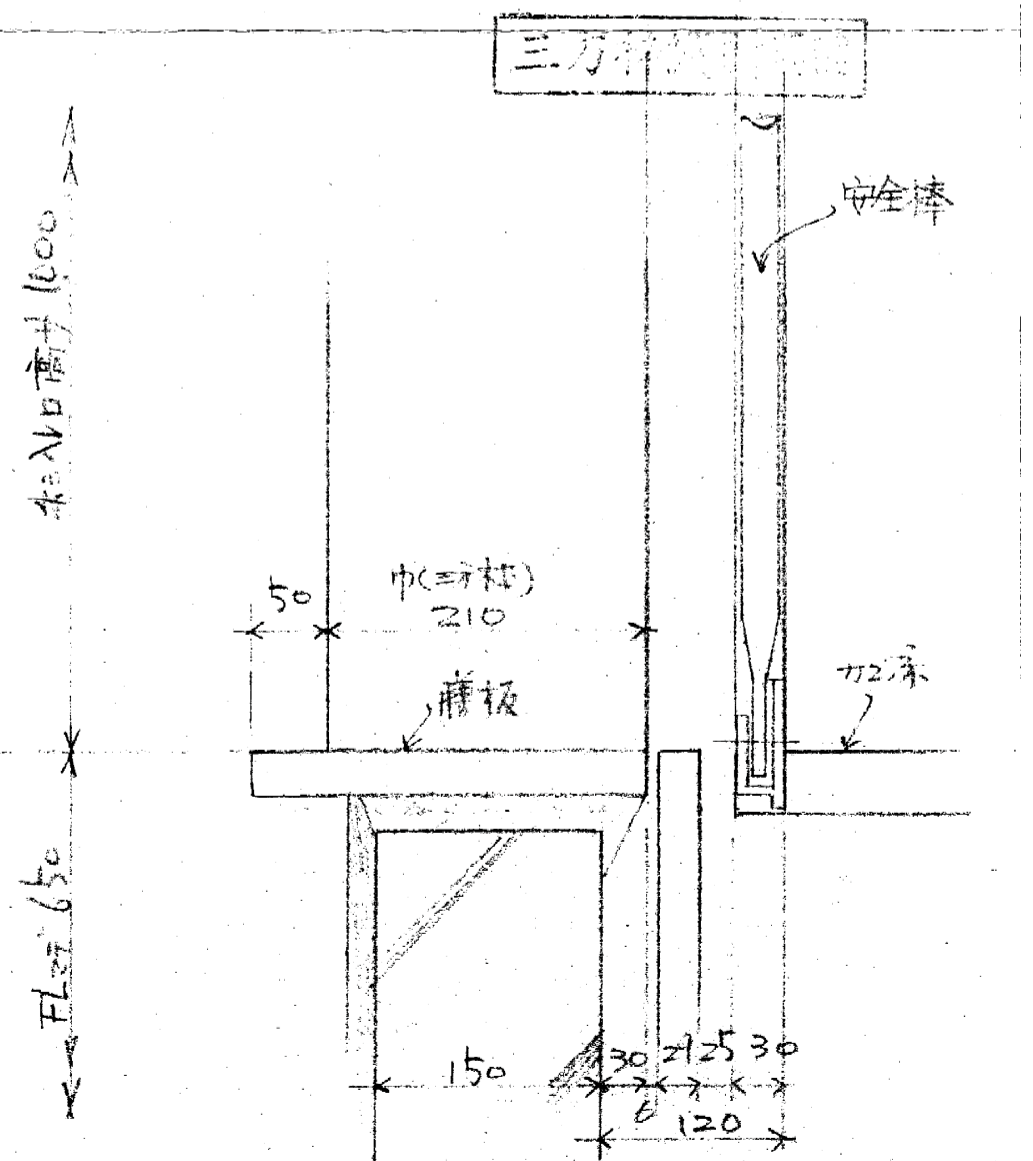
乗場正面図



乗場正面火明図

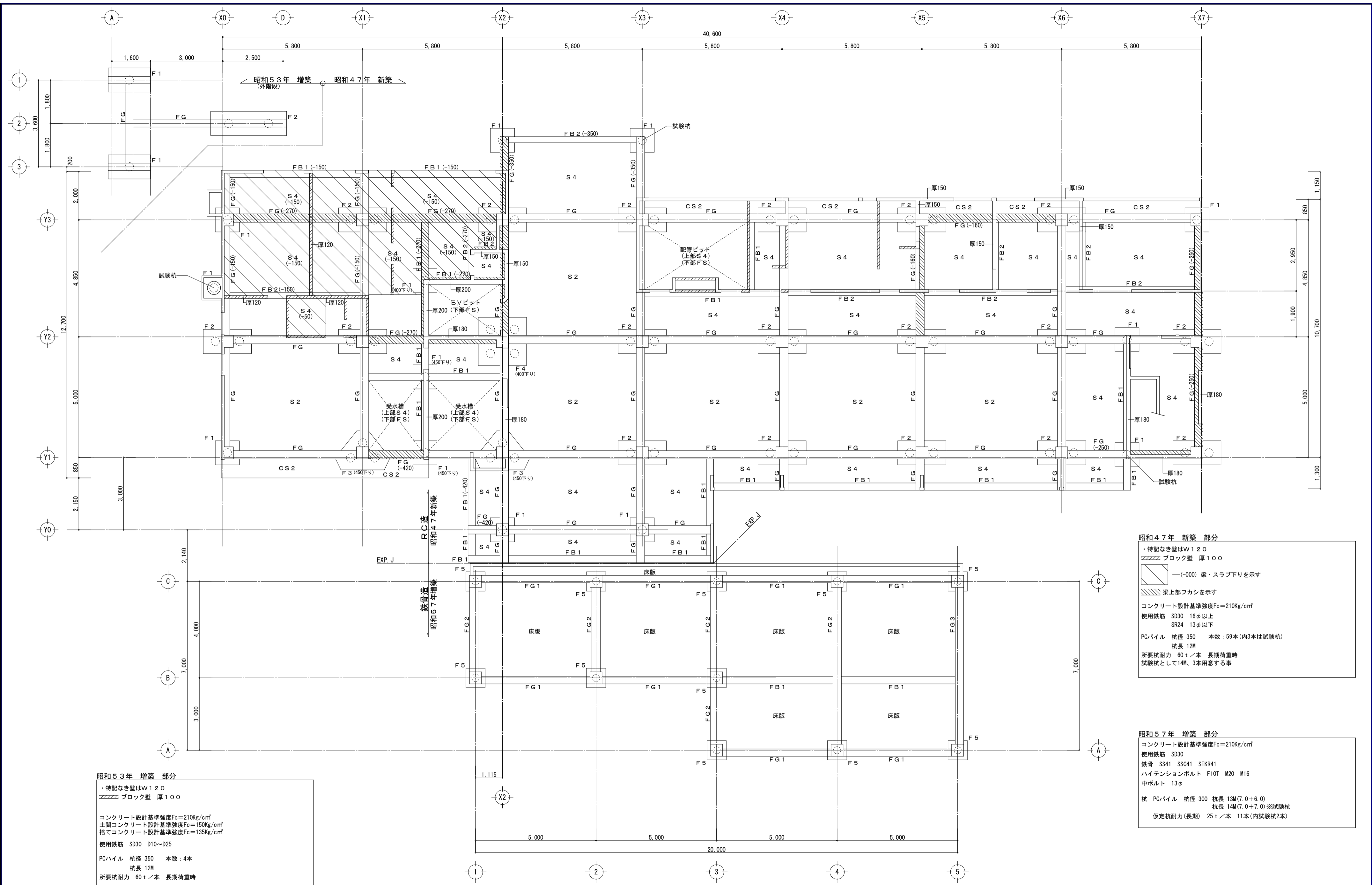


操作盤意匠図



川越市国民健康保険診療所 設

《参考図》



昭和47年新築部分

- ・特記なき壁はW120
- /// ブロック壁 厚100
- (-000) 梁・スラブ下りを示す
- ▨ 梁上部フカンを示す

コンクリート設計基準強度 $f_c=210\text{kg/cm}^2$
 使用鉄筋 SD30 16φ以上
 SR24 13φ以下

PCパイプ 杭径 350 本数: 59本(内3本は試験杭)
 杭長 12M
 所要杭耐力 60t/本 長期荷重時
 試験杭として14M、3本用意する事

昭和57年増築部分

コンクリート設計基準強度 $f_c=210\text{kg/cm}^2$
 使用鉄筋 SD30
 鉄骨 SS41 SSC41 STKR41
 ハイテンションボルト F10T M20 M16
 中ボルト 13φ

杭 PCパイプ 杭径 300 杭長 13M(7.0+6.0)
 杭長 14M(7.0+7.0)※試験杭
 仮定杭耐力(長期) 25t/本 11本(内試験杭2本)

昭和53年増築部分

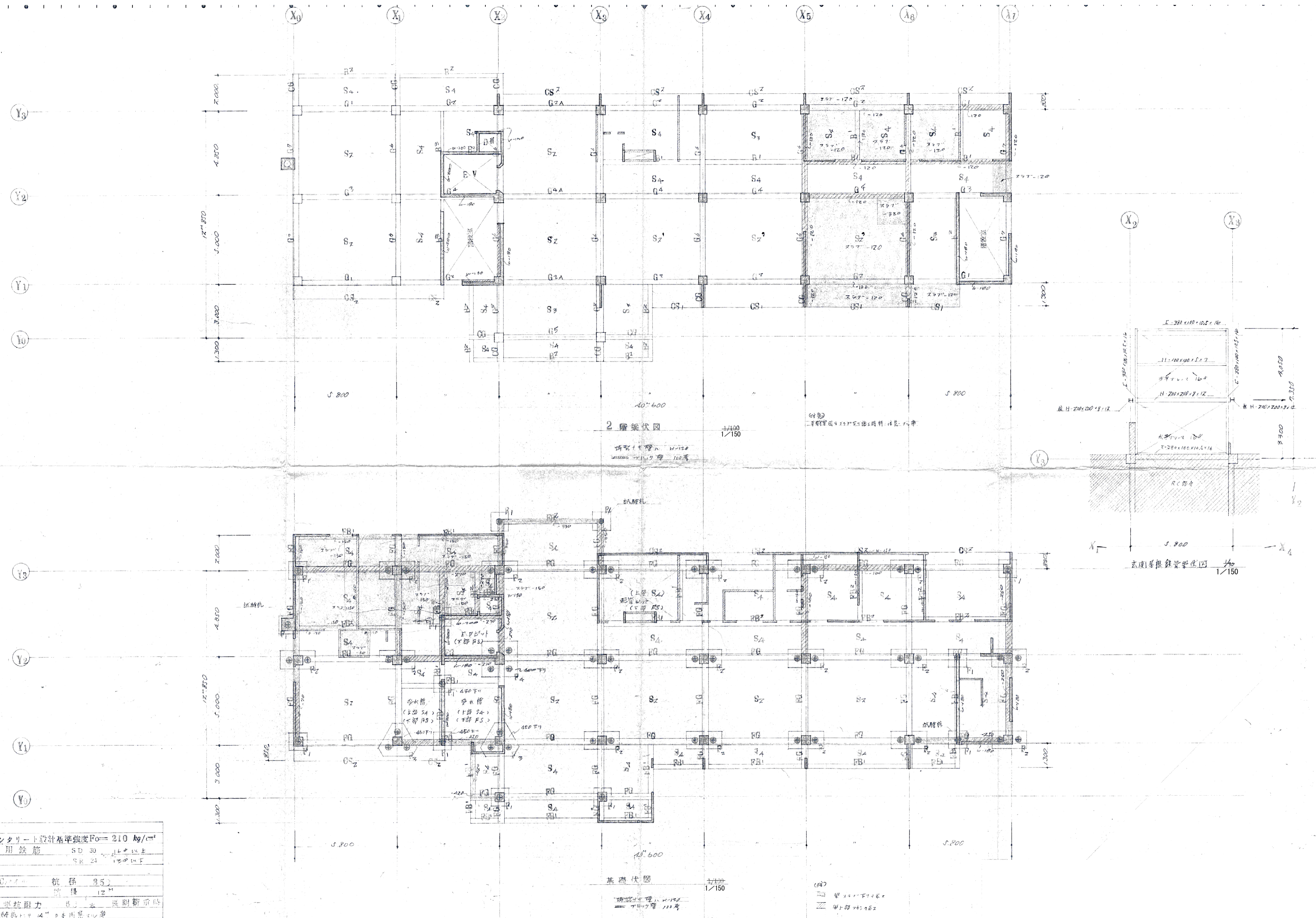
- ・特記なき壁はW120
- /// ブロック壁 厚100

コンクリート設計基準強度 $f_c=210\text{kg/cm}^2$
 土間コンクリート設計基準強度 $f_c=150\text{kg/cm}^2$
 捨てコンクリート設計基準強度 $f_c=135\text{kg/cm}^2$

使用鉄筋 SD30 D10~D25

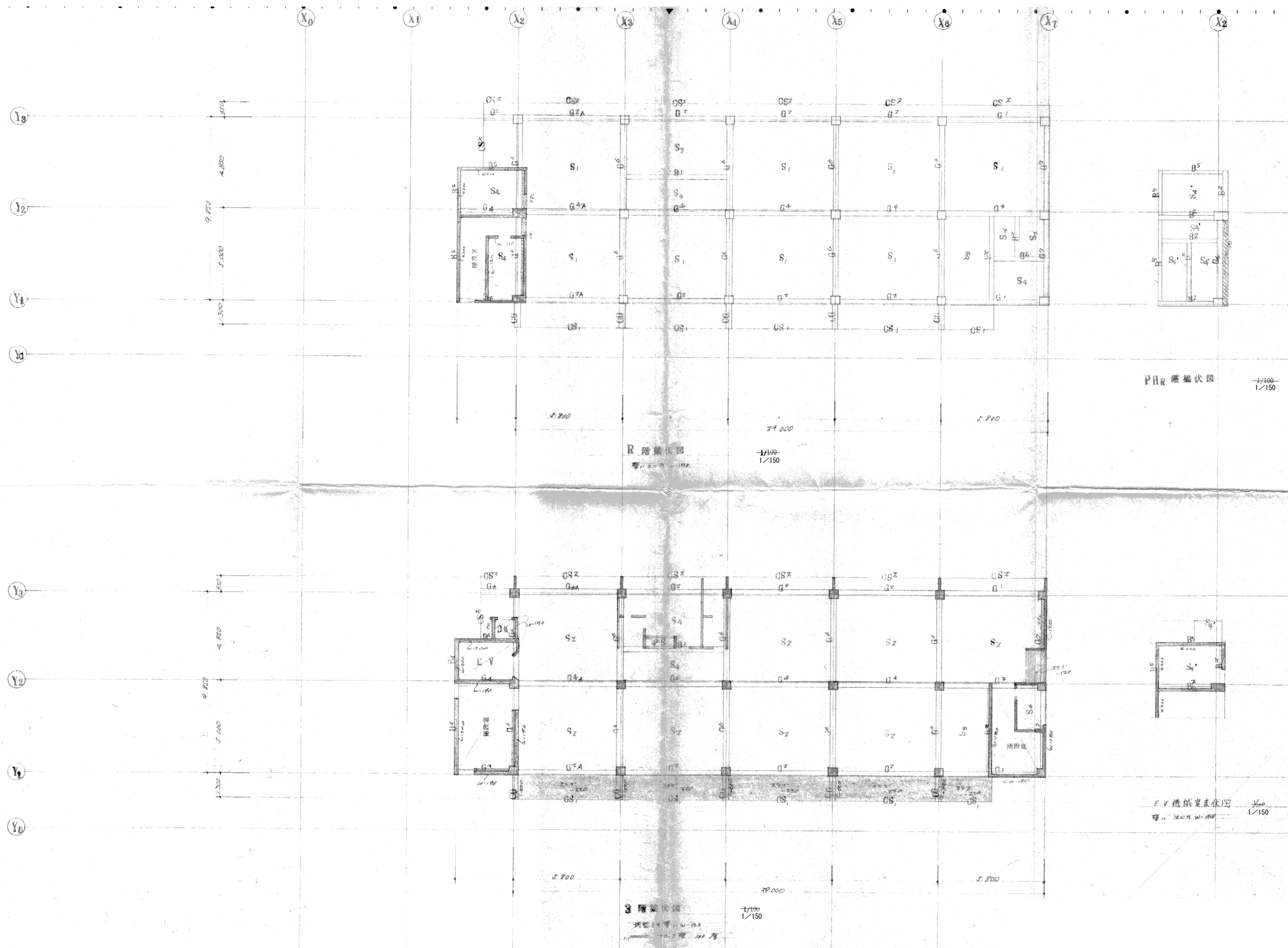
PCパイプ 杭径 350 本数: 4本
 杭長 12M
 所要杭耐力 60t/本 長期荷重時

基礎伏図 S=1/100



コンクリート設計基準強度 $F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$
使用鉄筋 SD 30 11φ以上
SR 24 12φ以下
PCパイプ 杭径 95φ
杭種 12M
所要杭耐力 12.5t
杭間隔 1.2m

【参考図】




PHR 階梁伏図 1/150

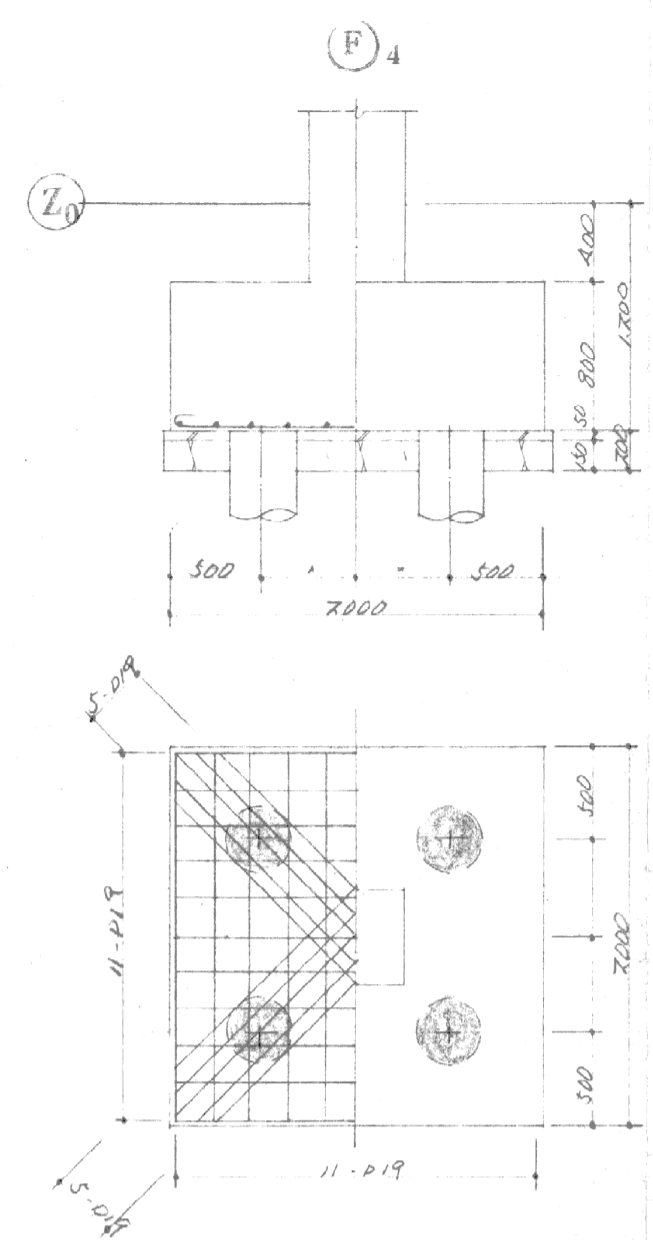
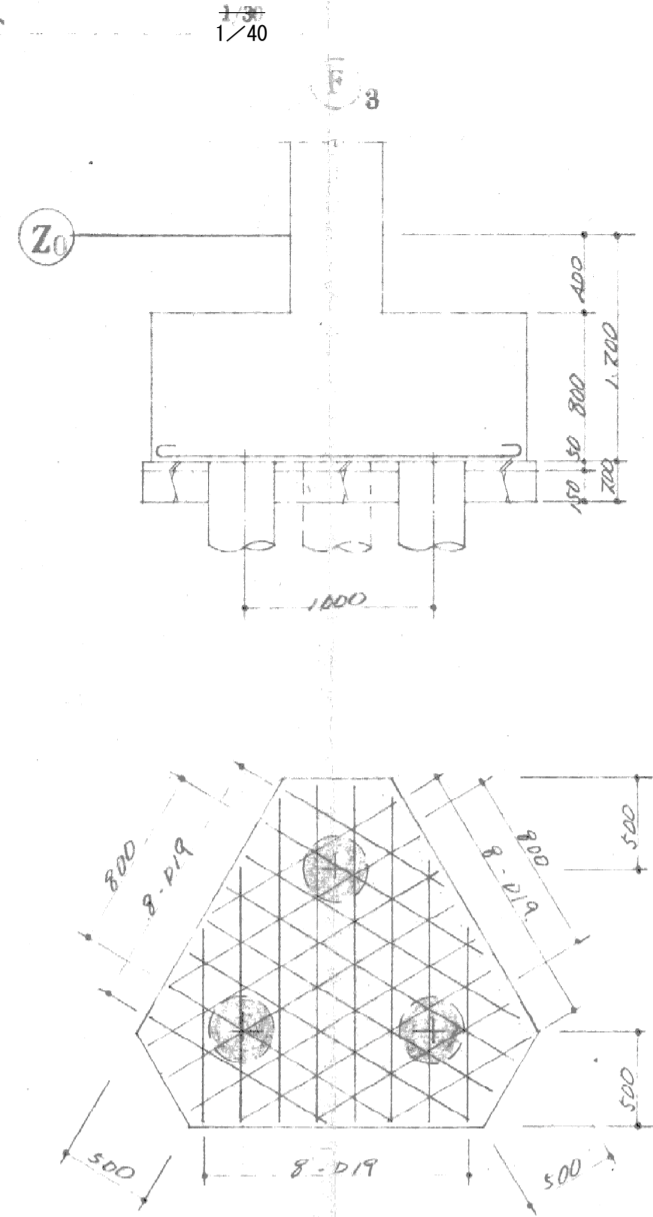
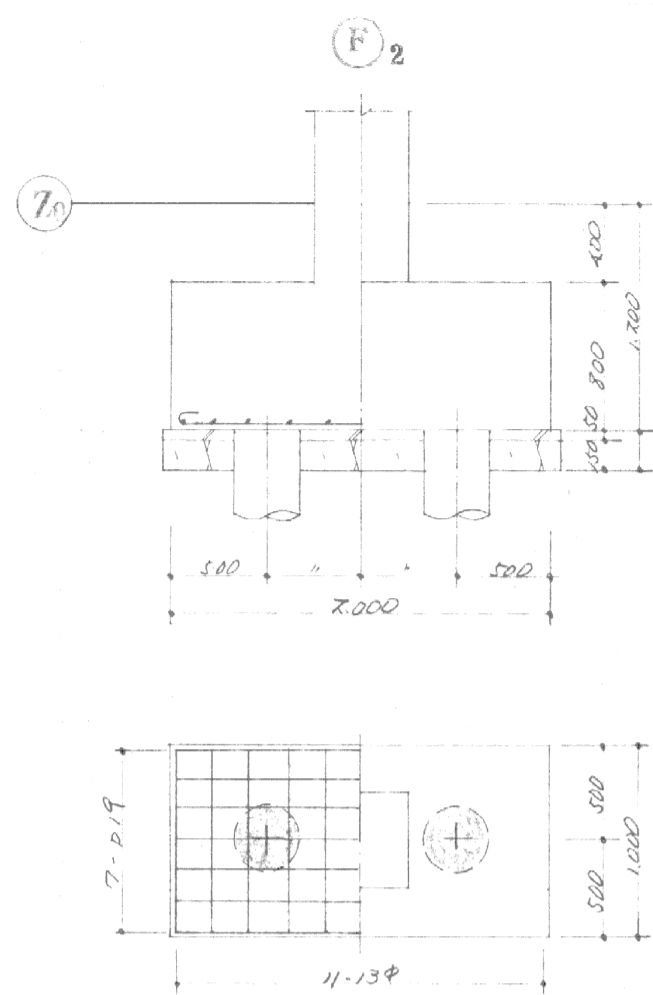
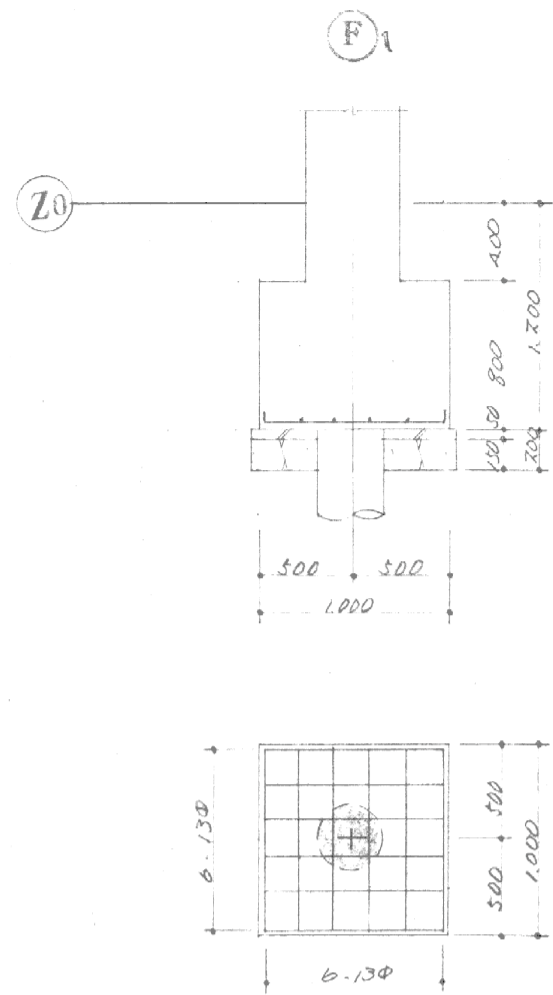
R 階梁伏図 1/150

E.V 機械室底床図 1/150

3 階梁伏図 1/150

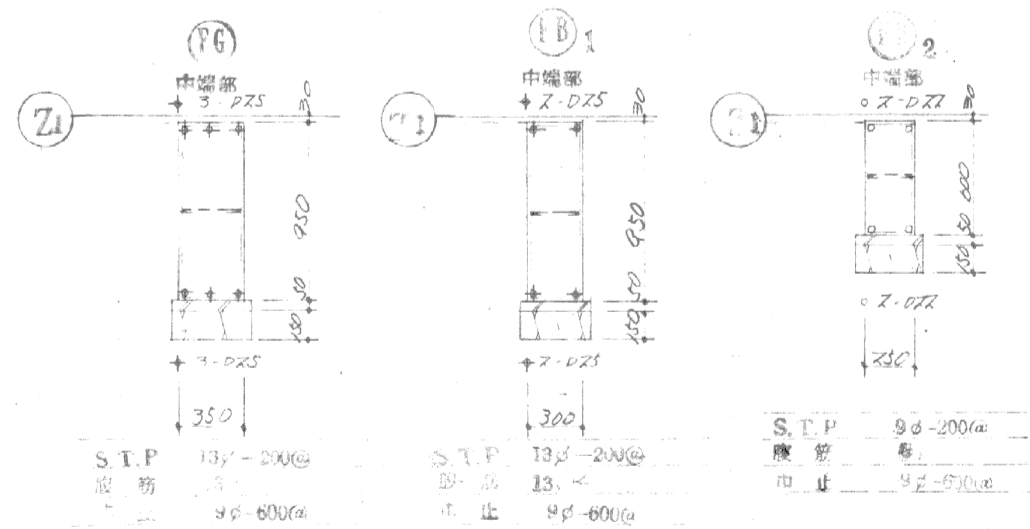
《参考図》

 〒350-0816 埼玉県川越市上戸282-8 ㈲岡部建築設計事務所 TEL 049-231-0122	1級建築士 大臣登録268522 岡部健司	縮尺 1/150	工事名称 旧川越市立診療所解体工事	図面番号 No. S-03
		設計年月日 令和 8年 2月	図面名称 新築時 3階・R階梁伏図	

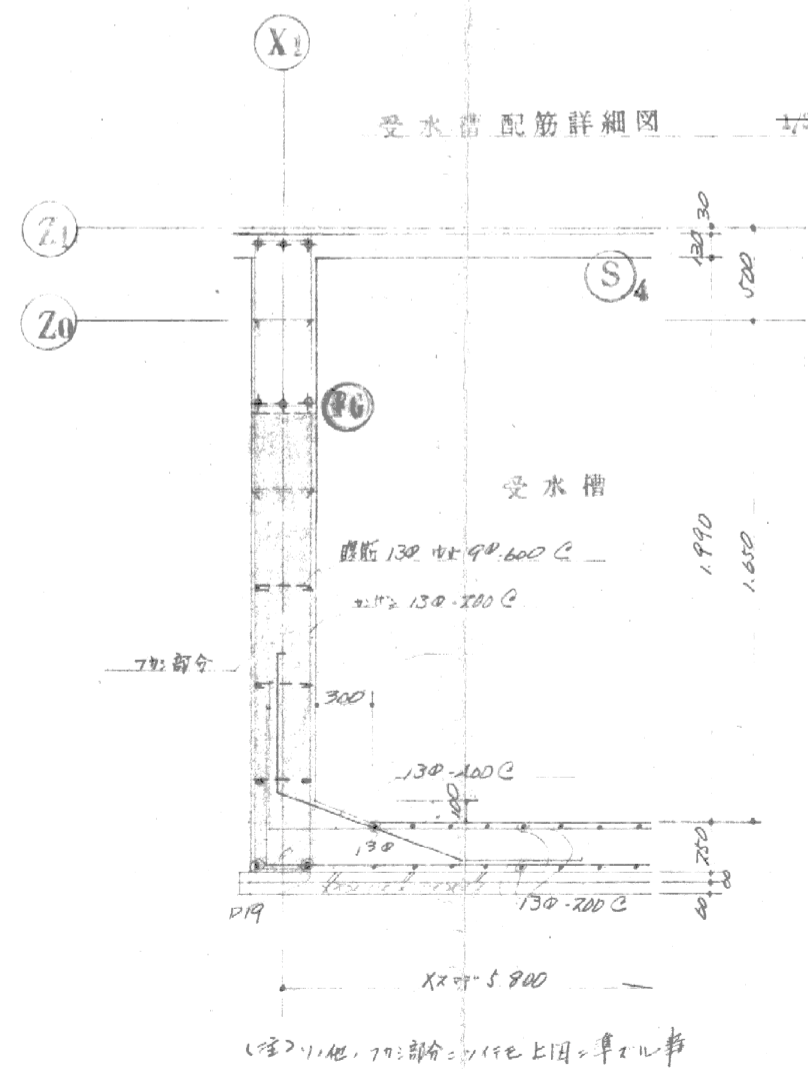


基礎リスト 1/40

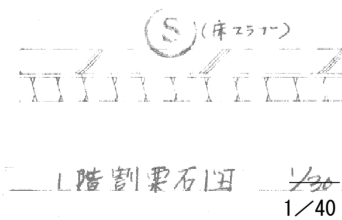
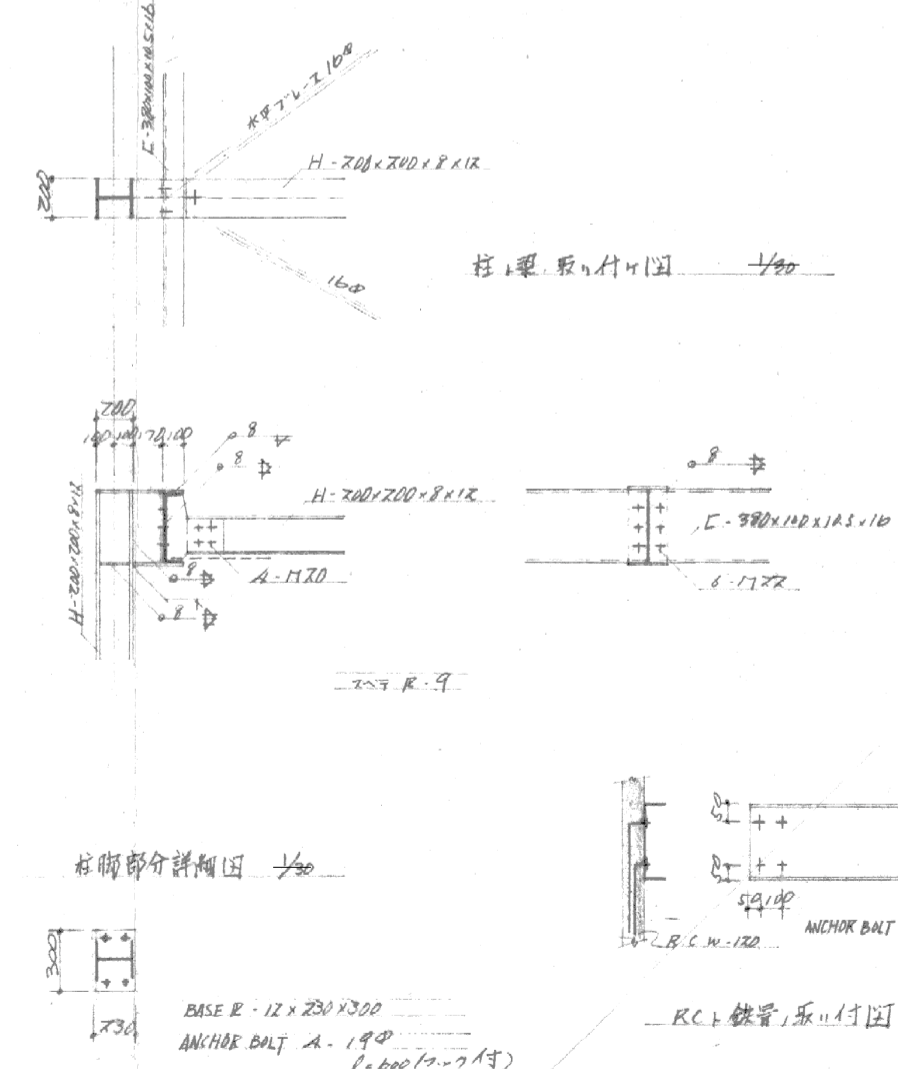
繫梁リスト 1/40



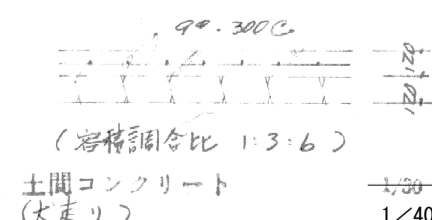
受水槽配筋詳細図 1/30



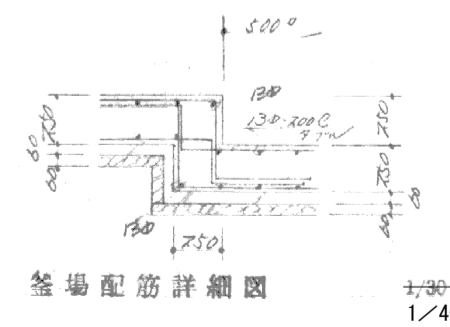
支脚層根張り取付詳細図



1/40

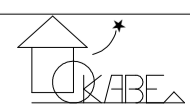


1/40



1/40

【参考図】



〒350-0816 埼玉県越市上戸282-8
 (株) 岡部建築設計事務所
 TEL 049-231-0122 1級建築士
 大臣登録268522 岡部健司

縮尺 1/40
 設計年月日 令和8年2月

工事名称 旧川越市立診療所解体工事
 図面名称 新築時 基礎・地中梁リスト

図面番号 No. S-04

梁リスト

1/30
1/40

特記ナキ限り	
S.T.P	9φ-150@
底筋	9φ
中筋	9φ-600@

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	②A	④A	⑧
RF	外端 中央 内端 +3-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 300 500	中央 端部 +2-D25 +3-D25 +3-D25 +2-D25 300 500	=R①	=R②		外端 中央 内端 +3-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 300 500	外端 中央 内端 +2-D25 +2-D25 +2-D25 +2-D25 +2-D25 +2-D25 300 500		=R①	=R④	指すル部、端部等 ソリッド部ニシテ
S.T.P	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@		9φ-200@	9φ-200@		9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@
3F	+1-D25 +2-D25 +1-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 350 600	+2-D25 +3-D25 +3-D25 +2-D25 350 600	=3①	=3②		+1-D25 +2-D25 +1-D25 +3-D25 +2-D25 +2-D25 350 600	+3-D25 +2-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 +2-D25 350 600		=3①	=3③	△上
S.T.P	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@		9φ-200@	9φ-200@		9φ-200@	9φ-200@	9φ-200@
2F	+5-D25 +2-D25 +5-D25 +2-D25 +3-D25 +2-D25 350 650	+2-D25 +5-D25 +3-D25 +3-D25 350 650	+6-D25 +2-D25 +5-D25 +5-D25 +3-D25 +2-D25 350 650	+2-D25 +5-D25 +3-D25 +3-D25 350 650	+1-D25 +2-D25 +5-D25 +3-D25 +3-D25 +2-D25 350 650	+6-D25 +2-D25 +1-D25 +5-D25 +3-D25 +2-D25 350 650	+5-D25 +2-D25 +3-D25 +5-D25 +2-D25 +3-D25 350 650	+3-D25 +5-D25 +3-D25 +3-D25 350 650	=2②	=2④	△上
S.T.P	9φ-100@	9φ-150@	9φ-100@	9φ-150@	9φ-100@	9φ-100@	9φ-150@	9φ-100@	9φ-100@	9φ-100@	9φ-100@

(G1, G2, G3, G4, G5, G6, G7, G8, G2A, G4A, G8 ソリッド部ニシテ)

柱リスト

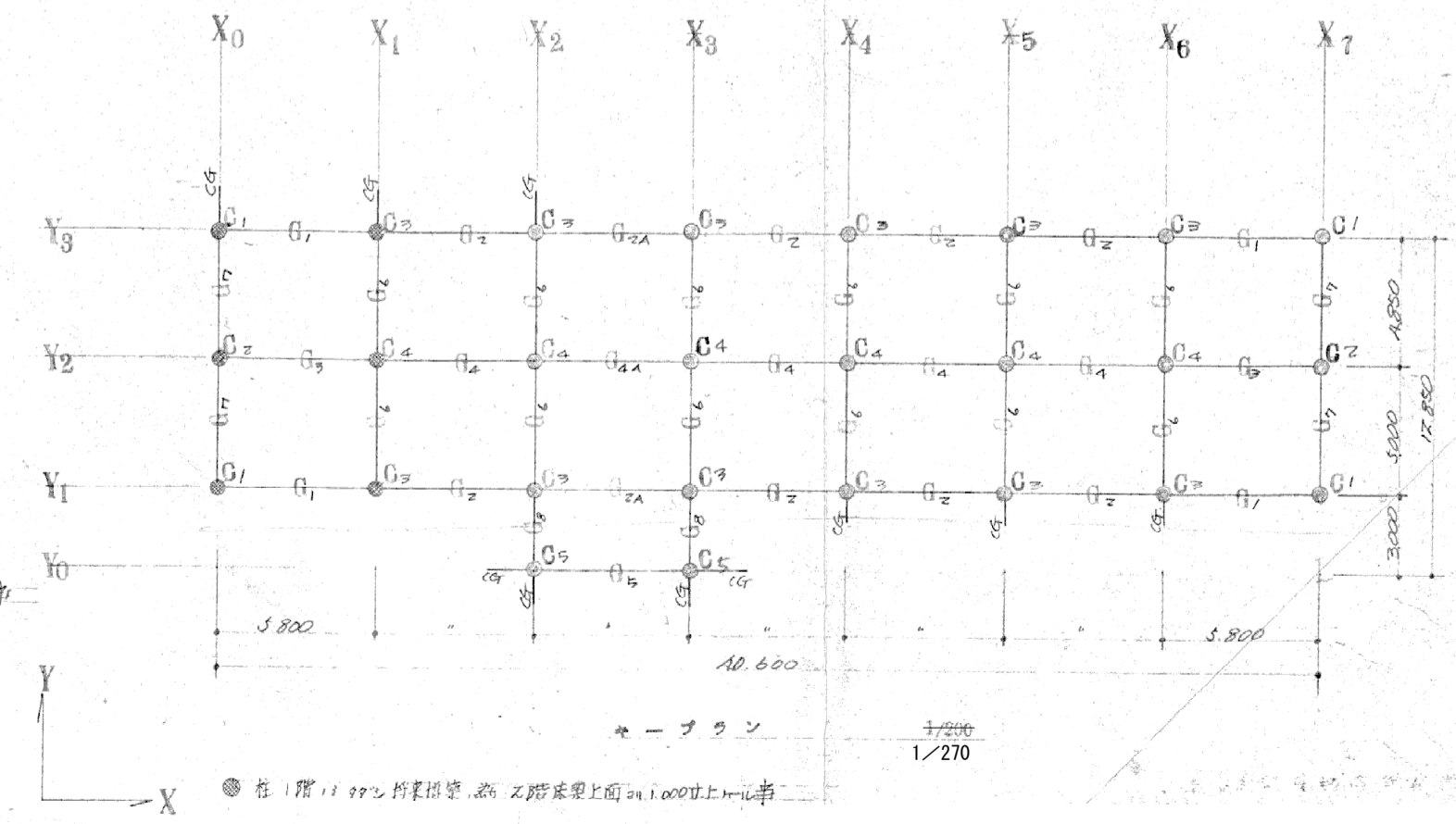
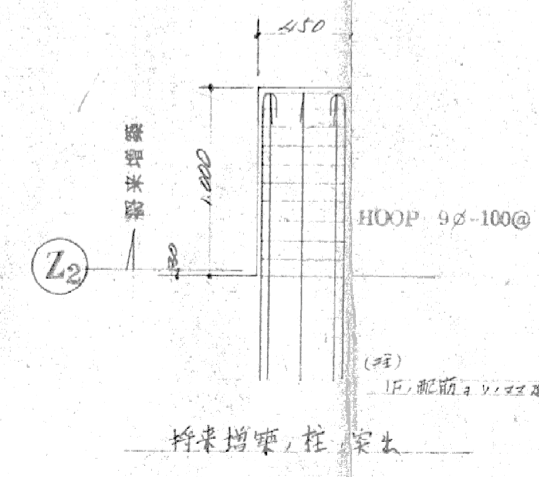
1/30
1/40

特記ナキ限り	
HOOP	9φ-100@
DLA HOOP	9φ-600@

	①	②	③	④	⑤
3F	=2①	=2①	=2①	=2①	
2F	○8-D22 450 450	○10-D22 450 450	○11-D22 450 450	○12-D22 450 450	
1F	○12-D22 500 500	○16-D22 500 500	=1②	=1②	=1②

(塔屋・柱ハ3C3C4ノソリッド部ニシテ)

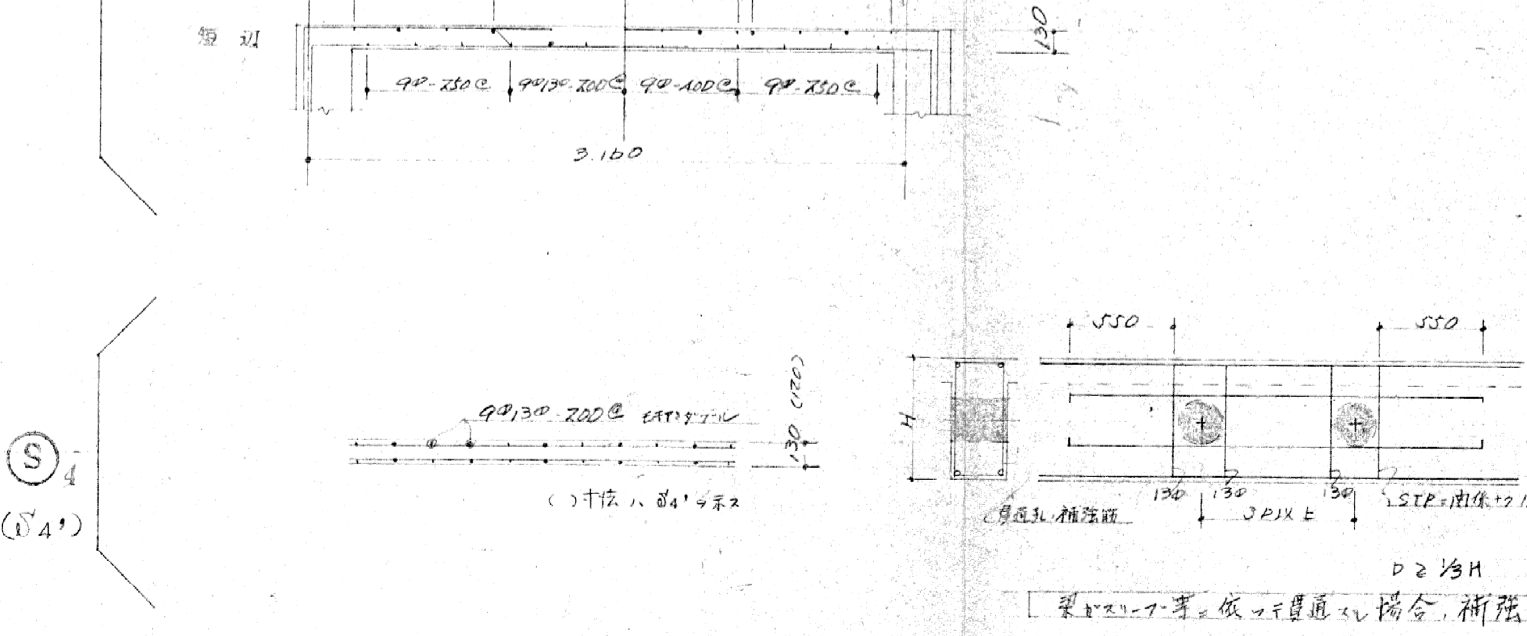
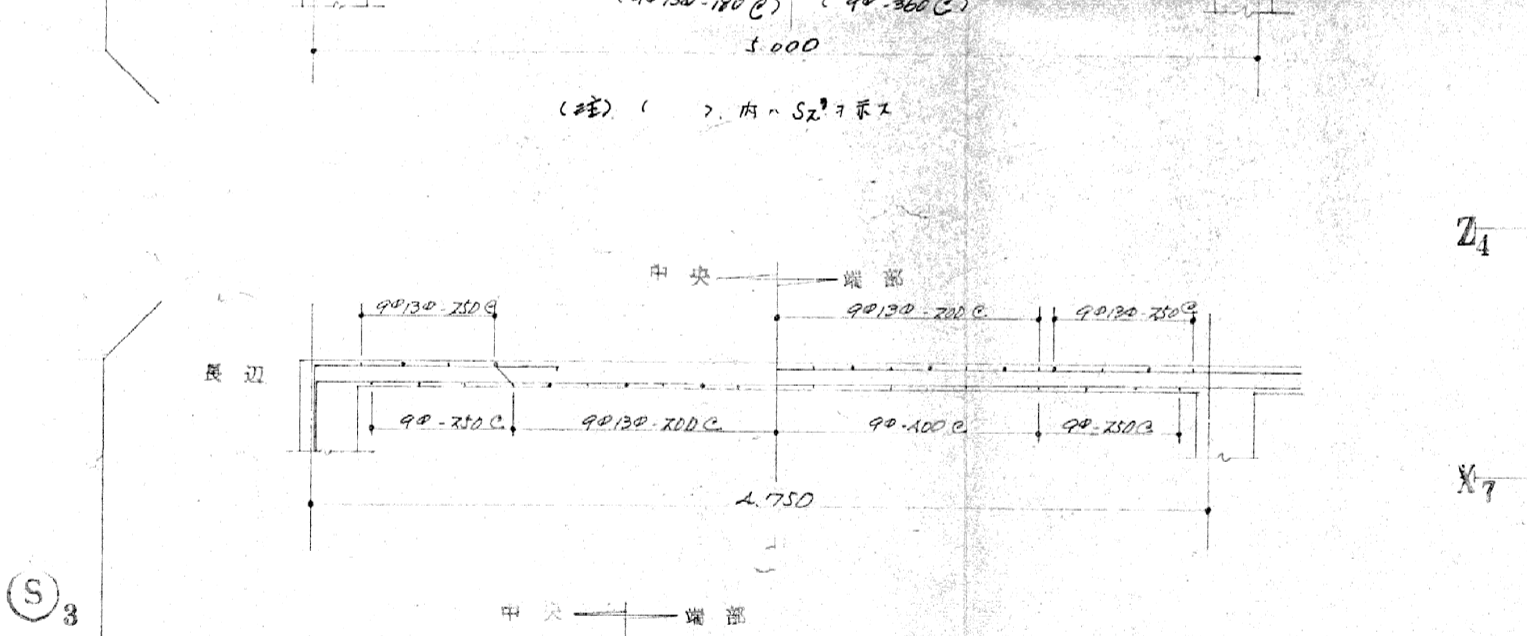
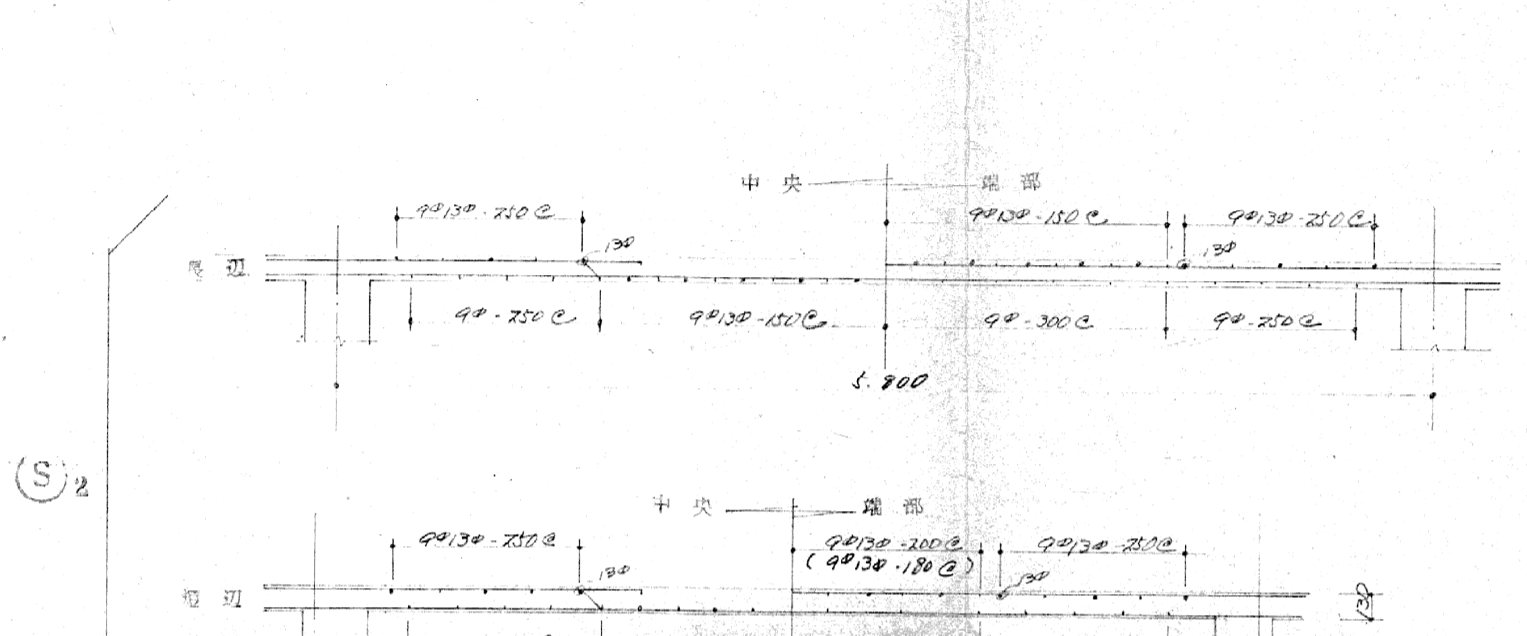
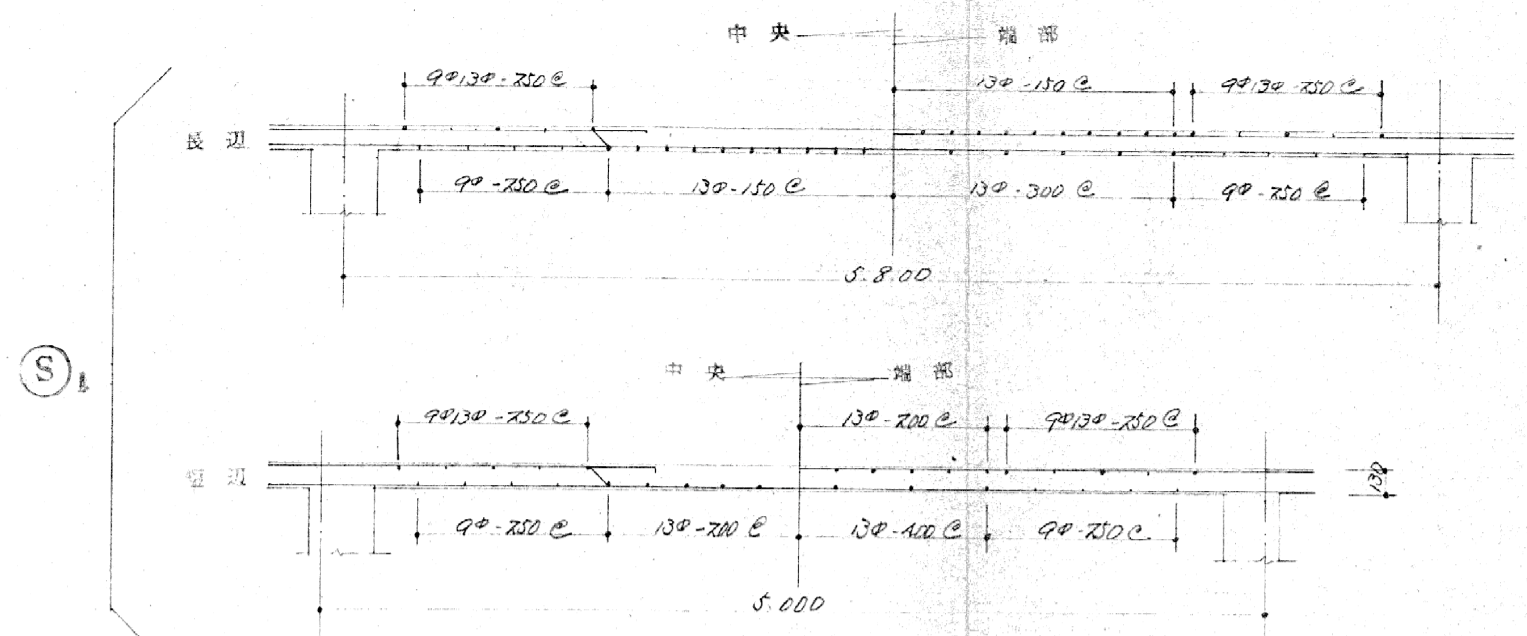
(注)
柱上端、原則ハ、カマシ接続ナル事
変種ナシトシ場合ハ、四隅、主筋ハ、以テフランク付ケル事。



【参考図】

スラブリスト

1/30
1/40



(S4)

(S1)

(S2)

(S3)

(S4)

小梁リスト

1/30
1/40

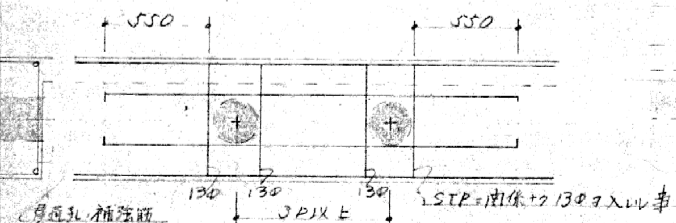
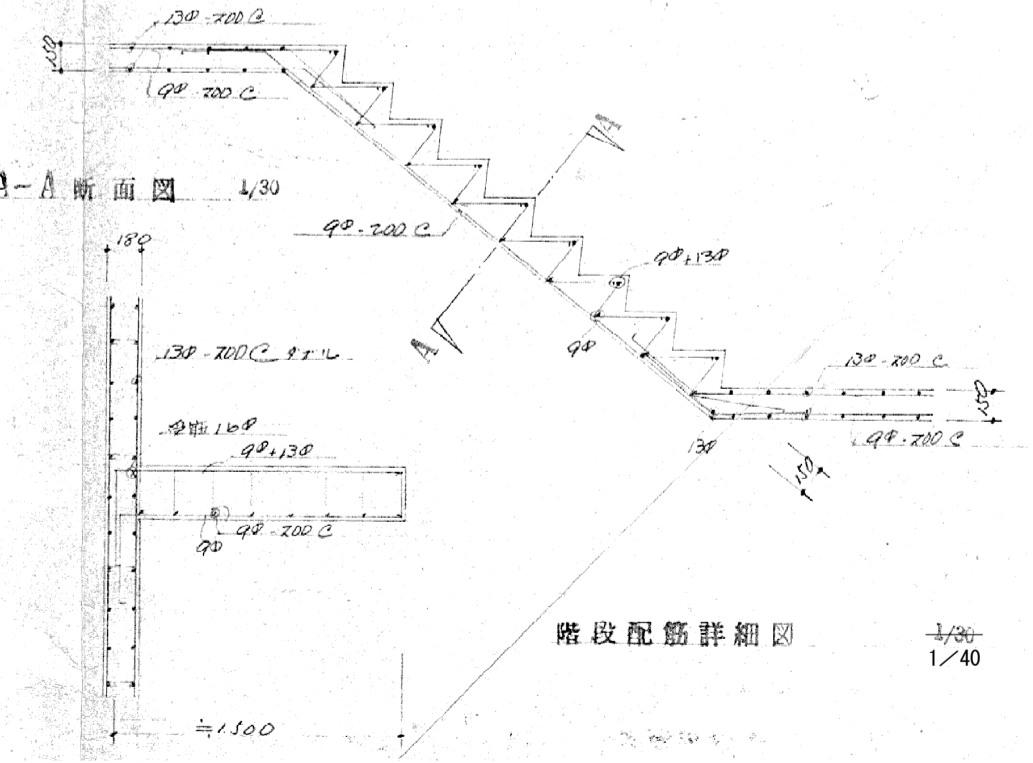
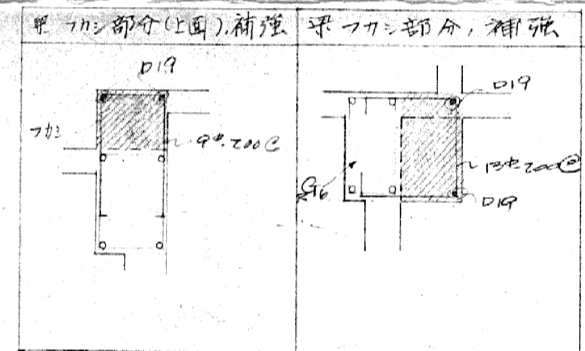
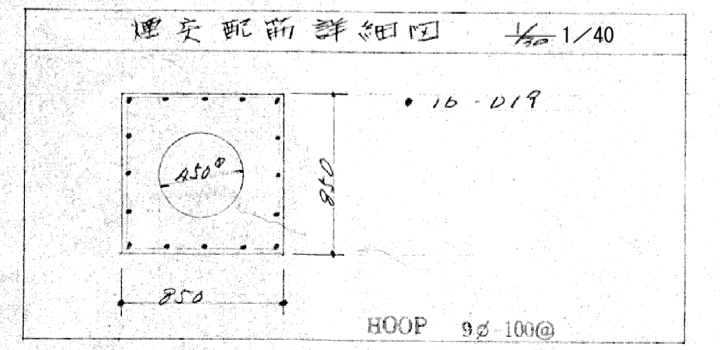
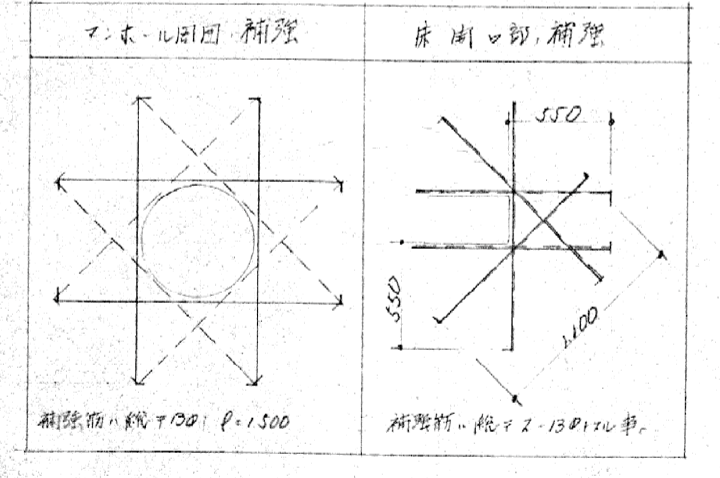
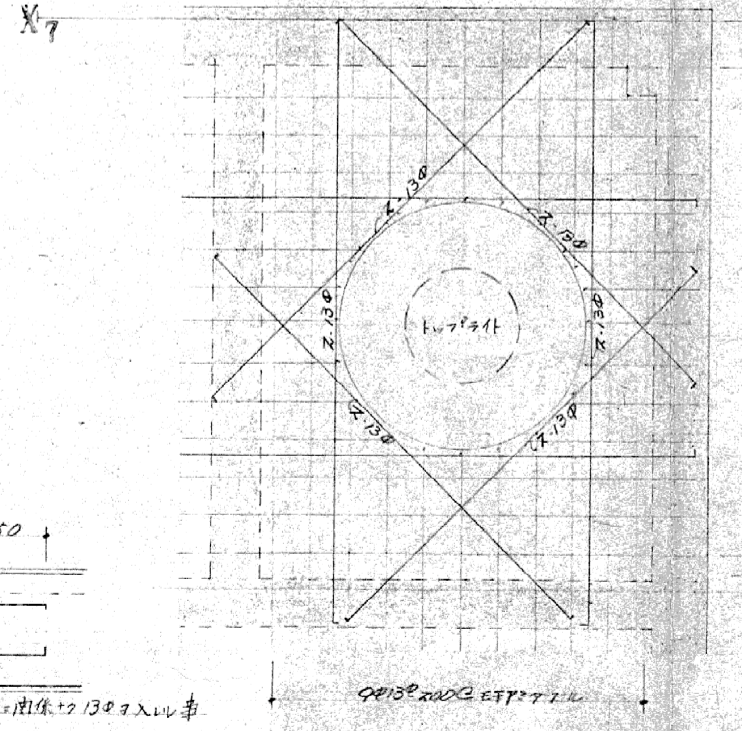
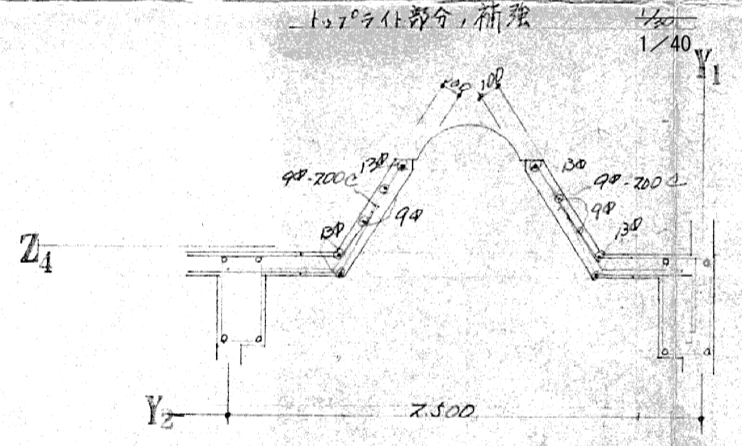
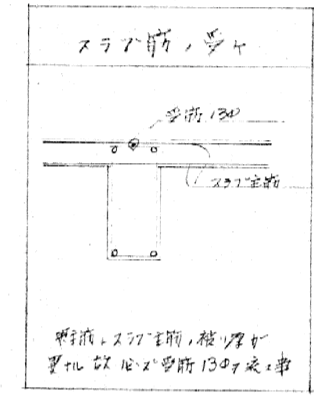
	(B)1	(B)2	(B)3	(B)4	(B)5
土筋	2-D25	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22
下筋	2-D25	2-D22	2-D22	2-D22	2-D22
S.T.P					

S.T.P	9φ-200@
土筋	9φ
巾止	9φ-900@

壁リスト

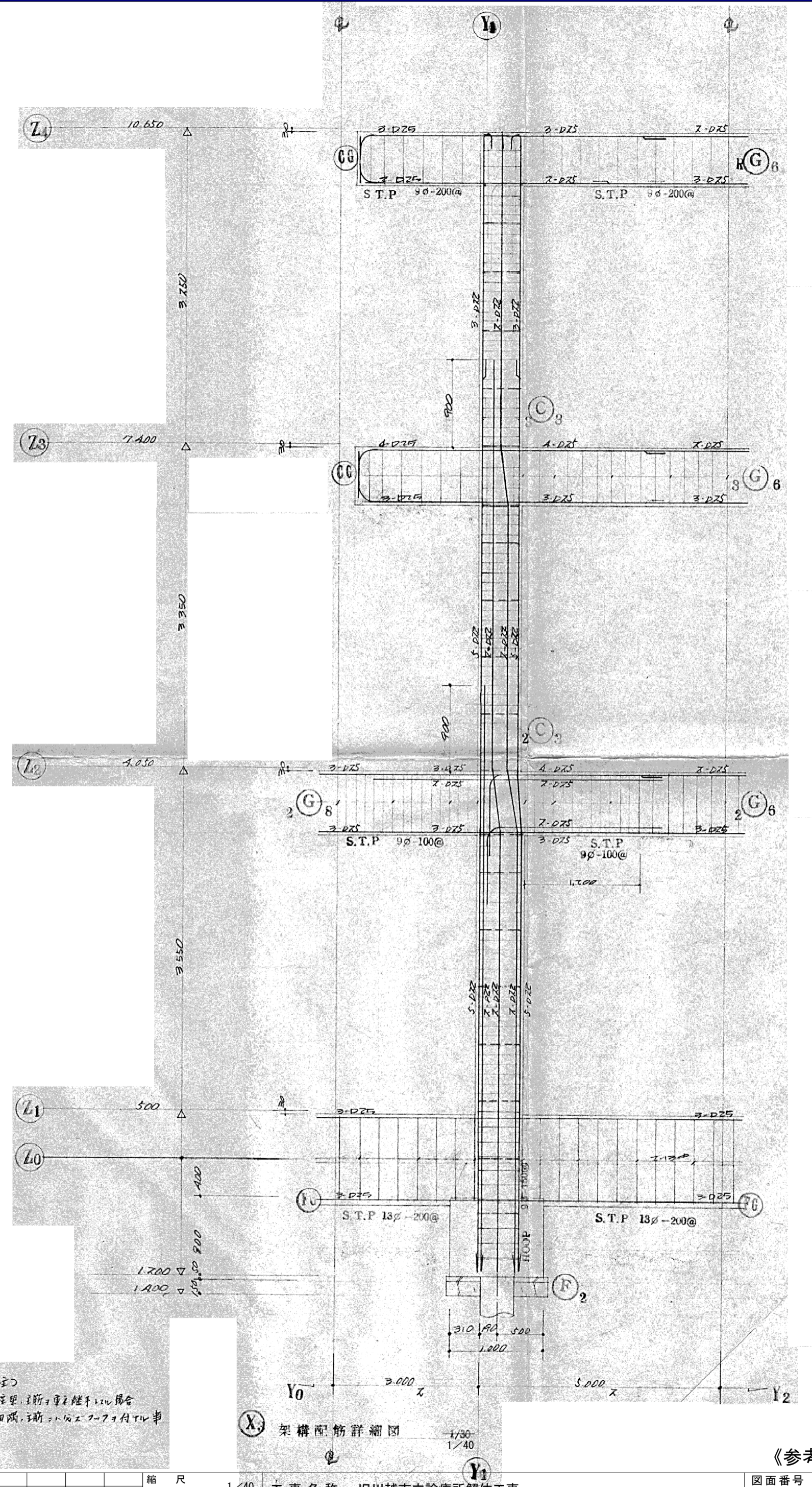
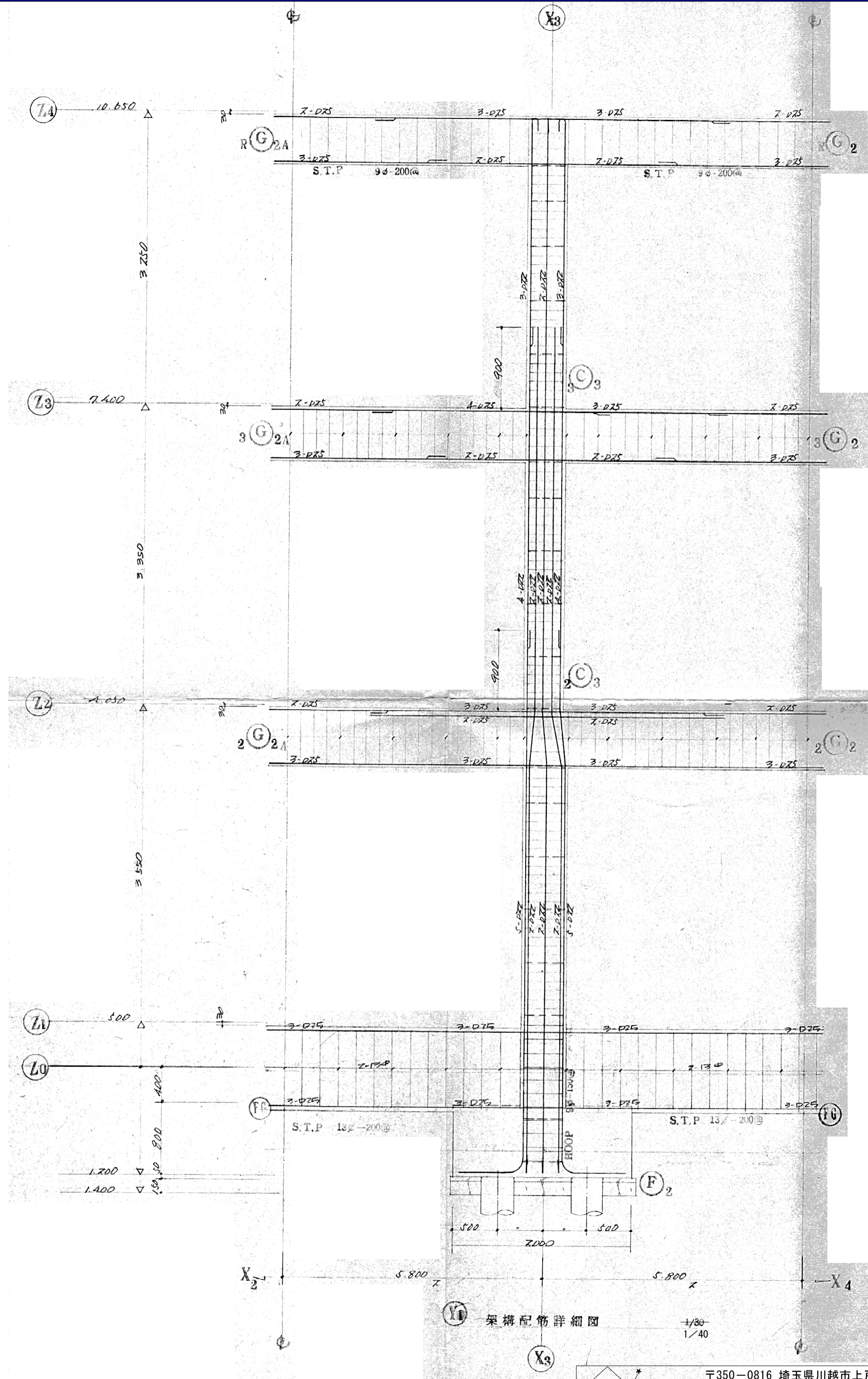
1/30
1/40

断面	W 200 W 180	W 150	P 100 B. 120	厚板部補強
9φ	13φ-200@920	9φ-200@	9φ-100@	
5φ	13φ-200@	9φ-200@	9φ-600@	
巾止	9φ	9φ-600@	9φ-600@	
9φ	9φ-600@			

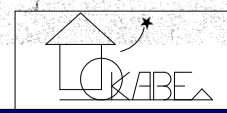


梁とスラブの接合部補強
 (注) 梁筋は、原則として、12mm径の棒筋を使用し、スラブ筋は、原則として、10mm径の棒筋を使用する。
 巾止は、1/4付出しとする。

【参考図】



【参考図】



〒350-0816 埼玉県川越市上戸282-8
 (有) 岡部建築設計事務所
 TEL 049-231-0122
 1級建築士
 大臣登録268522 岡部健司

縮尺 1/40
 設計年月日 令和 8年 2月

工事名称 旧川越市立診療所解体工事
 図面名称 新築時 X3・Y1通り 架構配筋詳細図

図面番号 No. S-07